スズキ車故障診断アプリケーション
Version 3.8

取扱説明書

ご利用の前に

・この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。
・この取扱説明書は、製品と一緒に大切に保管してください。

⚠ 警告

（1）　故障診断機本体から煙が出る、異臭がするなどの異常がある場合は、ただちに車両のイグニッションスイッチと診断機本体の電源をOFFにして、ダイアグケーブルを抜いてください。
　※　火災の原因となります。

⚠ 注意

（1）　本アプリケーションは故障診断機専用です。販売元が認定する診断機以外の他メーカーの診断機には使用できません。
　※　診断機本体、アプリケーションソフトの故障の原因となります。
（2）　本アプリケーションはスズキ車専用です。他メーカーの車両には使用できません。
　※　他メーカーの車両に使用すると、車両に悪影響をおよぼす恐れがあります。
（3）　車を修理する場合は、カーメーカー発行の整備マニュアルに基づき修理を行なってください。
（4）　販売元で認定している故障診断機用アプリケーションソフト以外のソフトやデータ類を、付属のCFカードにインストールしないでください。
　※　診断機本体の誤作動や故障の原因となります。
（5）　診断機本体にCFカードを取り付ける時や取り外す時は、実行中のアプリケーションソフトを停止させ、電源をOFFにしてください。
　※　アプリケーションソフト実行中や電源ONの状態でCFカードの取り付けや取り外しをすると、故障診断機本体やCFカード内のプログラムやデータを破壊する恐れがあります。
（6）　診断機本体に拡張計測ボードを取り付ける時や取り外す時は、実行中のアプリケーションソフトを停止させ、電源をOFFにしてください。
　※　アプリケーションソフト実行中や電源ONの状態で拡張計測ボードの取り付けや取り外しをすると、故障診断機本体やCFカード内のプログラムやデータを破壊する恐れがあります。
（7）　CFカードを抜いた状態で故障診断機を長時間、放置しないでください。
　※　CFスロット（挿入口）を開放したままにすると、本体内部にホコリや水滴が入り、故障となる原因を誘引します。
（8）　CFカードを水に濡らしたり、曲げたり、落としたり、衝撃を与えないでください。
　※　故障の原因となります。
（9）　CFカードを挿入する時は、診断機に向きを合わせ挿入してください。
　※　向きを間違えると故障の原因となります。
（10）CFカードを分解、改造しないでください。
　※　故障の原因となります。
（11）CFカードのコネクタ部分または内部に異物を入れないでください。
　※　故障の原因となります。
（12）CFカードを直射日光のあたる場所、温度の高い場所、湿度の高い場所、ほこりの多い場所に放置しないでください。
　※　故障の原因となります。
（13）CFカードのコネクタ端子に指で直接触れないでください。
　※　故障または接触不良の原因となります。
（14）ケーブルの抜き差しは、コネクタハウジングをつかんで行ってください。
　※　ケーブルを直接引っ張ると断線の原因となります。

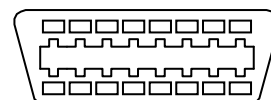
目　次

1. サポート範囲

1.1. 対象車種

(1)診断可能条件

本アプリケーションは、下記に示すすべての条件を満たすスズキ車のコントロールユニットで故障診断を行なうことができます。

- 国際標準規格の診断コネクタ(SAE J1962のコネクタ)を装備した車両。
- 本アプリケーションが診断対象としているシステムで、かつK-LINE(7番端子)またはCAN(6および14番端子)で故障診断通信を行うコントロールユニット。
- 日本国内で生産された12Vバッテリのガソリン車。

[国際標準規格診断コネクタ]

1.2. 診断項目

本アプリケーションは、「1.1.対象車種」に記載の条件を満たす車両に対して、下記の診断機能をサポートしています。尚、車両によって使用できる診断機能は異なります。

診断対象システム ＼ 診断機能	エンジン	AT(CVT)	ABS(VST,ESP)	エアバッグ	パワーステアリング	エアコン	ボデイ	参照項
全システムのダイアグコードの点検	○	○	○	○	○	○	○	3.3
ダイアグコードの点検	○	○	○	○	○	○	○	3.9.1
ダイアグコードのクリア	○	○	○	○	○	○	○	3.9.2
現在データの表示	○	○	○	○	○	○	○	3.11
フリーズフレームデータ表示	○	○						3.9.3
アクティブテスト	○		○				○	3.13
コントローラ識別表示	○	○	○	○	○	○	○	3.5
メーター表示	○							3.12

1.3. 使用言語

本アプリケーションは、日本語のみを対象としています。

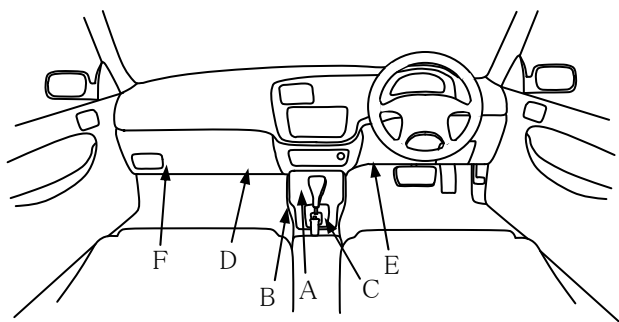
2.　準備

2.1.　接続

(1) 診断車両が対象車種(「1.1.対象車種」参照)であることを確認してください。

注意	対象車種以外の車両に使用すると、車両に悪影響をおよぼす恐れがあります。

(2) 診断機の電源がOFFであることを確認し、CFカードを挿入してください。
(3) 診断機にダイアグケーブルを接続してください。
(4) 車両のイグニッションスイッチがOFFであることを確認し、下図A～Fまたは整備マニュアルを参考にして車両側診断コネクタにダイアグケーブルを接続してください。

F D E B A C

(5) 車両のイグニッションスイッチをONにします。

2.2.　各種設定

故障診断を実行する前に「ダイアグモニタメニュー」より「ダイアグモニタの設定」を実行して、以下の項目を設定してください。設定方法等に関しては、診断機本体の取扱説明書をご参照ください。

項目	設定内容
日付・時刻の設定	日付時刻が違っていたら正しく設定しなおしてください。
キープッシュ音	キーを押した時のプッシュ音を設定してください。
単位の設定	国際単位系であるSI単位に設定してください。 [SI単位]　速度　km/h 温度　℃ 圧力　kPa 空気流量　g/s

3.　操作

3.1.　車両故障診断/点検メニュー

「ダイアグモニタメニュー」で「車両故障診断/点検をする」をYESで選択すると、車両故障診断メニューを表示します。

このメニューで「スズキ車の故障診断」をYESで選択してください。

「スズキ車の故障診断」を選択すると「アプリケーションロード中… しばらくお待ちください」と表示されます。CFカード内のアプリケーションを実行する準備を行なっていますので、電源を切らずに数秒間お待ちください。

3.2. 車両故障診断メニュー

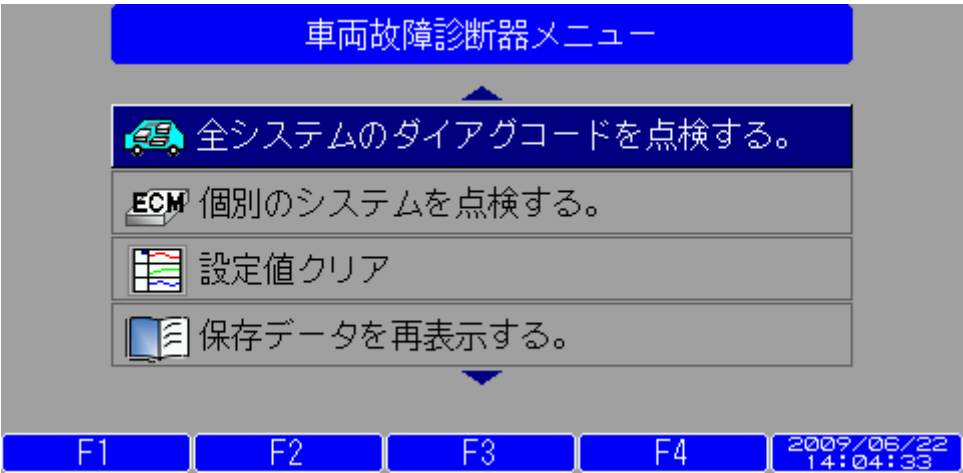
車両故障診断器メニュー

全システムのダイアグコードを点検する。

個別のシステムを点検する。

設定値クリア

保存データを再表示する。

F1 F2 F3 F4 2009/06/22 14:04:33

メニュー項目をYESで選択すると、以下参照項の機能をそれぞれ実行します。

メニュー項目	参照項
全システムのダイアグコードを点検する	「3.3.全システムのダイアグコードの点検」
個別のシステムを点検する	「3.4.システム選択メニュー」
設定値クリア	「3.15.設定値クリア」
保存データを再表示する	「3.16.保存データの表示」
画面保存データを再表示する	「3.17.画面保存データの表示」

3.3.　全システムのダイアグコードの点検

全システムのダイアグコード表示

システム	検出コード
エンジン	P0010 OCV系統異常
AT (CVT)	DTC無し
ABS (VST, ESP)	DTC無し
エアバッグ	通信不能
パワーステアリング	DTC無し
エアコン	DTC無し
ボディ	DTC無し

F1　F2　F3　F4 画面保存　2008/04/22 08:40:02

本アプリケーションが対応する全システムについて、車両が記憶している現在のダイアグコード（故障コード）を取得し表示します。

ダイアグコードが発生していない場合は「DTC無し」を、ダイアグコードが発生している場合はコード名称と説明文を「検出コード」の欄に表示します。また、車両との通信に失敗した場合は「通信不能」を表示します。

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。 すべてのコードが1画面で表示しきれない場合、画面がスクロールします。
C	前の画面に戻ります。
F4	画面のハードコピーを保存します。

※　取得されたダイアグコードによっては補足説明がアプリケーションソフトに登録されていない場合があります。その場合は補足説明の部分に「整備マニュアルを参照ください」と表示されますので、カーメーカーが発行した対象車両の整備マニュアルを参照してください。

3.4.　システム選択メニュー

システム選択メニュー

エンジン

A/T AT（CVT）

ABS（VST，ESP）

エアバッグ

F1 F2 F3 F4 2006/06/21 10:31:50

診断するシステムをYESで選択してください。
システムを選択すると、故障診断を実行するための準備として車両と初期化通信を行ないます。
選択したシステムと初期化通信に成功した場合、「3.5.コントローラ識別コードの表示」を実行します。

初期化通信でエラーが発生した場合、エラー画面を表示します。この場合、以下の原因が考えられますので確認してください。

① 故障診断コネクタの接触不良およびケーブル断線の確認。
② ダイアグケーブルとの接続の確認。
③ 対象車種の確認。

3.5.　コントローラ識別コードの表示

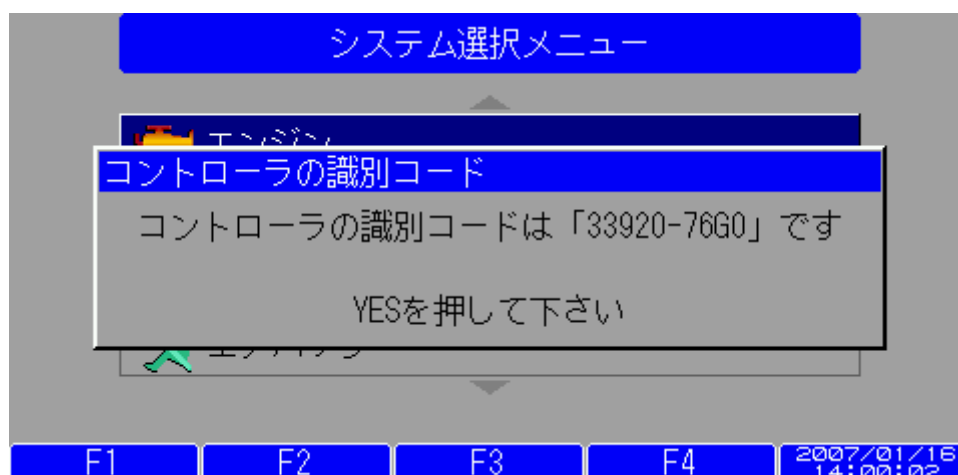
「3.4.システム選択メニュー」で初期化通信に成功した場合、コントローラ識別コードと品番の取得を行ないます。
取得通信が成功した場合、取得したコントローラ識別コードを画面に表示します。
各コントローラ識別コードに対応した車両型式については「7.システム別識別コード−車両型式一覧」を参照してください。

システム選択メニュー

コントローラの識別コード

コントローラの識別コードは「33920-76G0」です

YESを押して下さい

F1 F2 F3 F4 2007/01/16 14:00:02

YESを押した時に、車種の選択が必要なコントローラ識別コードの場合は、「3.6.車種の選択」を表示します。
その他の識別コードの場合は、「3.7.システム診断メニュー」を表示します。

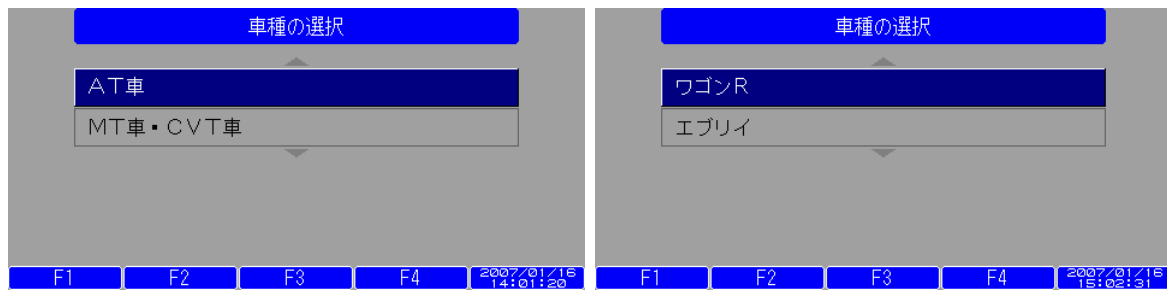
3.6.　車種の選択

エンジン

車種の選択
ＡＴ車
ＭＴ車・ＣＶＴ車
F1 F2 F3 F4 2007/01/16 14:01:20

車種の選択
ワゴンＲ
エブリイ
F1 F2 F3 F4 2007/01/16 15:02:31

AT

車種の選択
ワゴンＲ・アルト　２ＷＤ
ワゴンＲ＋（プラス）
その他の車両
F1 F2 F3 F4 2007/01/16 15:35:39

診断する車両をYESで選択すると、「3.7.システム診断メニュー」を表示します。

3.7. システム診断メニュー

「3.4.システム選択メニュー」で選択したシステムで診断が可能な機能を表示します。
「3.6.車種の選択」をした場合は選択した車両で診断が可能な機能が変わります。
※CAN通信対応システムについては、「ダイアグコードの点検」、「コントローラ識別表示」、「保存データを再表示する」機能のみを表示します。CAN通信対応システムについては、「7.システム別識別コード−車両型式一覧」を参照してください。

エンジン診断メニュー
ダイアグコードの点検
現在のデータ表示/保存
アクティブテスト機能
コントローラ識別表示
F1 F2 F3 F4 2007/01/16 14:02:31

エンジン診断メニュー
ダイアグコード/フリーズフレームデータの点検
現在のデータ表示/保存
アクティブテスト機能
コントローラ識別表示
F1 F2 F3 F4 2007/01/16 15:07:18

メニュー項目をYESで選択すると、以下参照項の機能をそれぞれ実行します。

メニュー項目	参照頁
ダイアグコードの点検 ダイアグコード/フリーズフレームデータの点検	「3.8.ダイアグコード/フリーズフレームデータの点検」
現在のデータ表示/保存	表示モードの選択がある識別コードの場合 「3.10.表示モードの選択」 表示モードの選択がない識別コードの場合 「3.11.現在のデータ表示/保存」
アクティブテスト機能	「3.13.アクティブテスト」
コントローラ識別表示	「3.14.コントローラ識別表示」
メーター表示	「3.12.メーター表示」
保存データを再表示する	「3.16.保存データの表示」

3.8.　ダイアグコード/フリーズフレームデータの点検

ダイアグコードの発生状況別に点検項目を表示します。

ダイアグコードの点検メニュー

現在のダイアグコードの点検

過去のダイアグコードの点検

仮コードの点検

F1　F2　F3　F4　2006/05/10 15:28:13

メニュー項目をYESで選択すると、以下の機能をそれぞれ実行します。

メニュー項目	機能
現在のダイアグコードの点検	表示対象コードを現在故障に絞り込んで「3.9.ダイアグコードの点検」を実行
過去のダイアグコードの点検	表示対象コードを過去故障に絞り込んで「3.9.ダイアグコードの点検」を実行
仮コードの点検	表示対象コードを仮(ペンディング)コードに絞り込んで「3.9.ダイアグコードの点検」を実行

※　ダイアグコードには1回のドライビングサイクル（イグニッションスイッチON～走行～イグニッションスイッチOFF）における故障検知で警告灯を点灯させるコードと、連続した2回のドライビングサイクルで故障検知した場合に初めて警告灯を点灯させるコードがあります。仮コードとは、その2回連続故障検知で警告灯を点灯させるトラブルコードでの1回目の故障検知時に記憶される故障情報のことです。

3.9. ダイアグコードの点検

3.9.1. ダイアグコードの点検

車両が記憶しているダイアグコード（故障コード）を取得し表示します。「検出コード」の欄に表示されているダイアグコードにカーソルを移動させると、そのダイアグコードの検出条件が画面左の「検出条件」の欄に表示されます。

ダイアグコードが発生していない場合、「DTC無し」を表示します。

コード名称の後に“H”又は“L”の付いているものは入力がオーバーレンジ 又はアンダーレンジになっていることを示します。

現在のダイアグコード（DTC）表示

検出コード	検出条件
C1013　ABSｺﾝﾄﾛｰﾗ誤組付け C1014　HU異常 C1015　ﾖｰﾚｰﾄ/Gｾﾝｻ系統前後G信号/4WD信号異常 C1016　ｽﾄｯﾌﾟﾗﾝﾌﾟｽｲｯﾁ系統異常 C1017　ﾖｰﾚｰﾄ/Gｾﾝｻ系統左右G信号異常 C1018　ﾌﾞﾚｰｷﾌﾙｰﾄﾞﾚﾍﾞﾙｽｲｯﾁ系統異常 C1019　CVT通信異常 C1020　ﾏｽﾀｼﾘﾝﾀﾞ圧力ｾﾝｻ電源系統異	・ECMが規定の車速以下で一定時間以上ｽﾄｯﾌﾟﾗﾝﾌﾟSWのONを検出 ・ECMからｽﾄｯﾌﾟﾗﾝﾌﾟSWのON入力が無いまま一定以上の減速を規定回数以上検出 ・IG端子電圧正常かつABS非作動時、関連端子の入力電圧が中間ﾚﾍﾞﾙ ・IG端子電圧正常かつABS非作動時、関連端子電圧が診断上限電圧以上となった

現在のダイアグコード数 ： 8

F1 DTC消去 | F2 | F3 | F4 画面保存 | 2007/01/12 13:02:40

<操作方法>

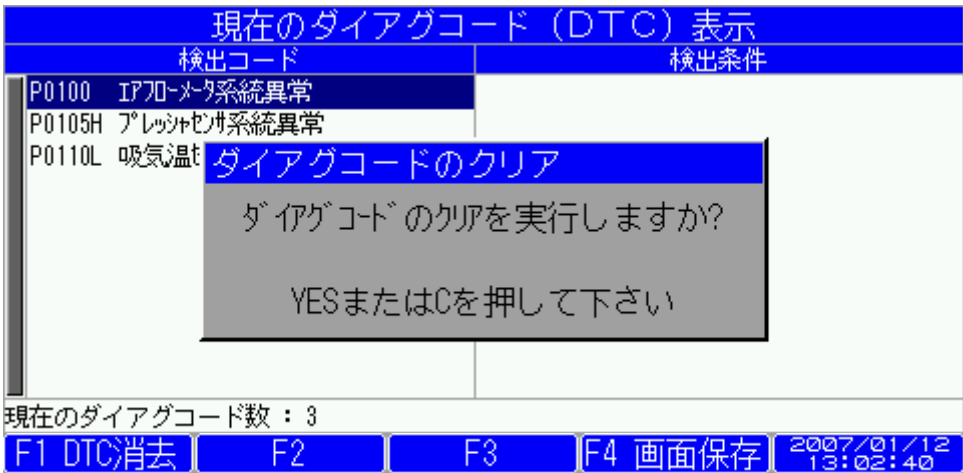
↑/↓	すべてのコードが1画面で表示しきれない場合、画面のスクロールをします。
YES/C	前の画面に戻ります。
S	ファンクションキーの機能を示す表示が切り替わります。 F1 DTC消去 | F2 ﾌﾘｰｽﾞﾌﾚｰﾑﾃﾞｰﾀ表示 | F3 | F4 画面保存 ⇕ F1 保存 | F2 | F3 | F4
F1～F4	次項の「ファンクションキー」をご参照ください。

<ファンクションキー>

DTC消去	「3.9.2.ダイアグコードのクリア」
フリーズフレームデータ表示	「3.9.3.フリーズフレームデータ表示」 （「フリーズフレームデータ表示」機能は、エンジン、ATで有効です。 その他システムでは「F2」と表示され無効キーとなります。）
画面保存	画面のハードコピーを保存します。
保存	「3.9.4.データ保存」

※　取得されたダイアグコードによっては補足説明や検出条件がアプリケーションソフトに登録されていない場合があります。その場合は補足説明の部分に「整備マニュアルを参照ください」と表示されますので、カーメーカーが発行した対象車両の整備マニュアルを参照してください。

3.9.2.　ダイアグコードのクリア

車両に記憶されているダイアグコード、フリーズフレームデータをクリアします。

<操作方法>

YES	ダイアグコードのクリアを実行します。
C	処理を中止し「3.9.1.ダイアグコードの点検」に戻ります。

3.9.3.　フリーズフレームデータ表示

故障（ダイアグコード）が発生した時の車両の動作状態を保存したデータ（フリーズフレームデータ）を取得し表示します。

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
C	前の画面に戻ります。
F1	「3.9.4.データ保存」
F4	画面のハードコピーを保存します。

3.9.4. データ保存

CFカードのデータ保存エリアに保存することができます。保存されたデータはいつでも参照することができます。

データ保存確認画面

[DTC]

[フリーズフレーム]

<操作方法>

YES	データ保存を実行します。
NO	データ保存を中止し、実行前の画面に戻ります。

上記画面でYESを押すとデータ保存が実行されます。

※　保存中は絶対に電源を切らないでください。保存データエリアが破壊され、他の保存データが表示できなくなることがあります。

また、データ保存が完了すると下記の確認メッセージが表示されます。

データ保存完了画面

[DTC]

現在のダイアグコード（DTC）表示

検出コード		検出条件
C1013	ABSｺﾝﾄﾛｰﾗ誤組付け	・ECMが規定の車速以下で一定時間以上ｽﾄｯﾌﾟﾗﾝﾌﾟSWのONを検出
C1014	HU異常	・ECMからｽﾄｯﾌﾟﾗﾝﾌﾟSWのON入力が無いまま
C1015	ﾖｰﾚｰﾄ	以上検出
	D信号	動時、関連端子
C1016	ｽﾄｯﾌﾟ	
C1017	ﾖｰﾚｰﾄ	動時、関連端子
	常	なった
C1018	ﾌﾞﾚｰｷ	
C1019	CVT通信異常	
C1020	ﾏｽﾀｼﾘﾝﾀﾞ圧力ｾﾝｻ電源系統異	

ダイアグコードの点検

データを保存しました。

エンジン　2008 / 09 / 16　10:28

YESを押して下さい

現在のダイアグコード数 ： 8

F1 保存　F2　F3　F4　2008/09/16 09:52:00

[フリーズフレーム]

項目	値
ﾀﾞｲｱｸﾞｺｰﾄﾞ	P0010
空燃比ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ制御ﾊﾞﾝｸ1	ｵｰﾌﾟﾝ2
水温	-40 °C
空燃比補正	
空燃比学習	
吸気管絶対	a
ｴﾝｼﾞﾝ回転	n
車速	/h
点火時期	TDC
吸気温	-40 °C
ｽﾛｯﾄﾙ開度	0 %

フリーズフレームデータ表示

データを保存しました。

エンジン　2010 / 03 / 23　18:08

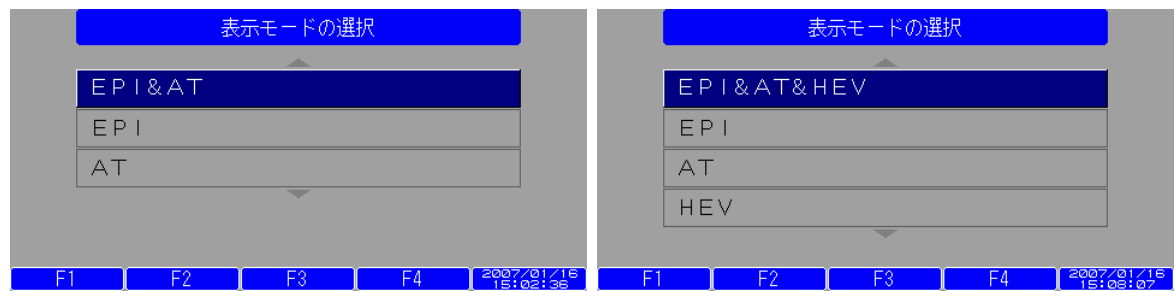
YESを押して下さい

F1 保存　F2　F3　F4 画面保存　2010/03/23 18:08:43

<操作方法>

YES	「データ保存」を実行した画面に戻ります。

3.10. 表示モードの選択

コントローラ識別コードによってはデータ表示のモード選択画面が表示されます。

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	「3.11.現在のデータ表示/保存」
C	前の画面に戻ります。

3.11. 現在のデータ表示/保存

データ表示には、下図のように数値データ表示、グラフ1表示およびグラフ2表示の3種類の表示形式があります。

数値データ表示

項目	値	最小	平均	最大
* 空燃比ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ制御	ｸﾛｰｽﾞ	-	-	-
水温	52 °C	51	51	52
空燃比補正率	-9.38 %	-9.38	-5.47	-1.56
空燃比学習補正率	-7.03 %	-10.16	-7.81	-7.03
吸気管絶対圧	45 kPa	42	45	48
ｴﾝｼﾞﾝ回転速度	1104 rpm	1104	1190	1371
車速	0 km/h	0	0	0
点火時期	7.5 °BTDC	3.5	5.0	7.5
吸気温	18 °C	18	18	18
* 吸入空気量	2.91 g/s	2.91	3.08	3.57

TIME 0:00:09

F1 保存 | F2 選択 | F3 グラフ | F4 ホールド | 2007/01/25 12:56:58

グラフ1表示

データモニタ項目　2s/div

*空燃比学習補正率 -10.16 % 39.844/d (99.22 / -100)

吸気管絶対圧 44 kPa 51/d (255 / 0)

ｴﾝｼﾞﾝ回転速度 1441 rpm 3276.8/d (16384 / 0)

TIME 0:00:11

F1 保存 | F2 選択 | F3 グラフ2 | F4 ホールド | 2007/01/25 12:57:16

グラフ2表示

データモニタ項目　2s/div

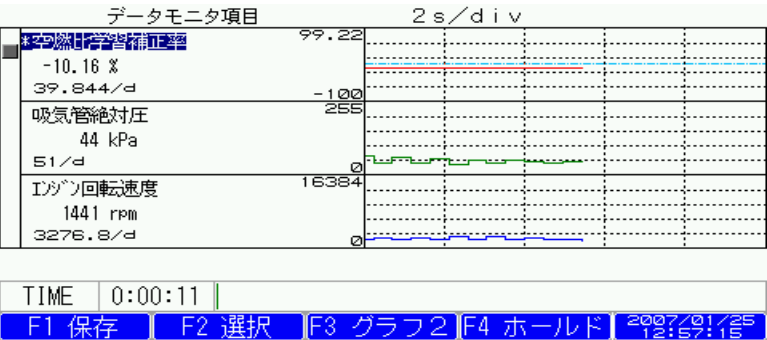
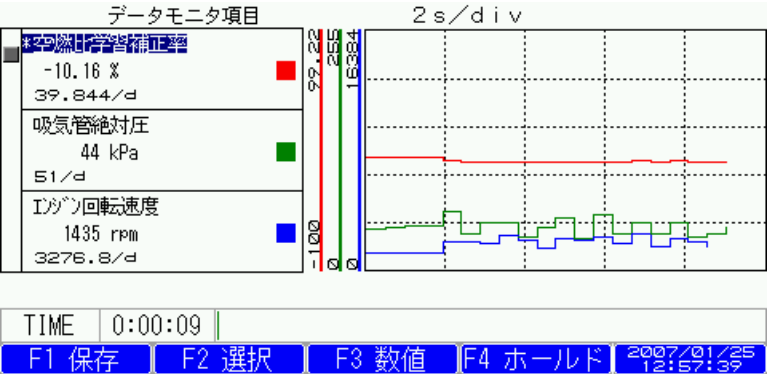
*空燃比学習補正率 -10.16 % 39.844/d

吸気管絶対圧 44 kPa 51/d

ｴﾝｼﾞﾝ回転速度 1435 rpm 3276.8/d

99.22 -100 255 0 16384 0

TIME 0:00:09

F1 保存 | F2 選択 | F3 数値 | F4 ホールド | 2007/01/25 12:57:39

また、データ表示には、「ランモード」、「ホールドモード」の2つの表示モードがあります。

ランモード	車両よりリアルタイムに取得したダイアグデータを表示するモードです。 操作方法に関しては「3.11.1.ランモード」をご参照ください。
ホールドモード	ランモードによって取得し記憶されたデータを以前にさかのぼって表示することができるモードです。 操作方法に関しては「3.11.2.ホールドモード」をご参照ください。

3.11.1. ランモード

＜操作方法＞

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	選択の設定/解除を行ないます。
S	ファンクションキーの機能を示す表示が切り替わります。 数値データ表示時 F1 保存 F2 選択 F3 グラフ F4 ホールド ⇕ F1 クリア F2 トリガ F3 F4 画面保存 ⇕ F1 全選択 F2 F3 F4 ホールド グラフ1表示時 F1 保存 F2 選択 F3 グラフ2 F4 ホールド ⇕ F1 クリア F2 トリガ F3 レンジ F4 画面保存 ⇕ F1 全選択 F2 F3 F4 ホールド グラフ2表示時 F1 保存 F2 選択 F3 数値 F4 ホールド ⇕ F1 クリア F2 トリガ F3 レンジ F4 画面保存 ⇕ F1 全選択 F2 F3 F4 ホールド
C	「3.7.システム診断メニュー」に戻ります。
F1～F4	次項の「ファンクションキー」をご参照ください。

＜ファンクションキー＞

保存	ランモードで記憶されたデータを保存します。詳細は「3.11.5.データ保存」をご参照ください。
選択	YESで選択され「*」が付けられた項目のみに絞り込んで表示します。
数値	数値データ表示に切り替えます。
グラフ	グラフ1表示に切り替えます。
グラフ2	グラフ2表示に切り替えます。
レンジ	グラフ1表示またはグラフ2表示時、レンジの変更が可能となります。操作方法に関しては「3.11.3.レンジ変更」をご参照ください。
ホールド	ホールドモードに移行します。
トリガ	トリガ設定を実行します。詳細は「3.11.4.トリガ設定」をご参照ください。
クリア	現在選択中の項目をすべて選択解除にします。
画面保存	画面のハードコピーを保存します。
全選択	全選択モードに切り替えます。

3.11.2. ホールドモード

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
←	前(過去)のデータを表示します。 グラフ表示の場合、グラフカーソルが左に移動します。
→	次のデータを表示します。 グラフ表示の場合、グラフカーソルが右に移動します。
YES	選択の設定/解除を行ないます。
S	ファンクションキーの機能を示す表示が切り替わります。 数値データ表示時 F1 保存 / F2 選択 / F3 グラフ / F4 スタート ⇕ F1 クリア / F2 トリガ / F3 / F4 画面保存 ⇕ F1 全選択 / F2 / F3 / F4 ホールド グラフ1表示時 F1 保存 / F2 選択 / F3 グラフ2 / F4 スタート ⇕ F1 クリア / F2 トリガ / F3 レンジ / F4 画面保存 ⇕ F1 全選択 / F2 / F3 / F4 ホールド グラフ2表示時 F1 保存 / F2 選択 / F3 数値 / F4 スタート ⇕ F1 クリア / F2 トリガ / F3 レンジ / F4 画面保存 ⇕ F1 全選択 / F2 / F3 / F4 ホールド
C	「3.7.システム診断メニュー」に戻ります。
F1～F4	次項の「ファンクションキー」をご参照ください。

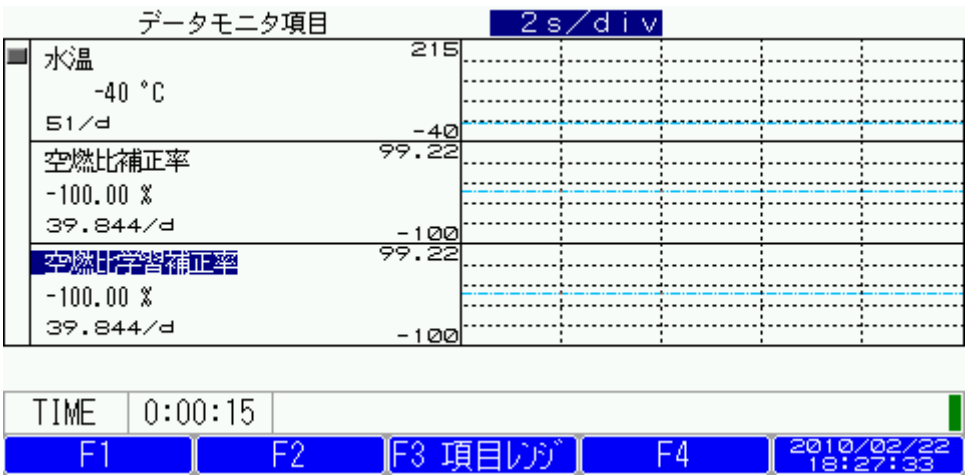
<ファンクションキー>

保存	現在ホールド中のデータを保存します。詳細は「3.11.5.データ保存」をご参照ください。
選択	YESで選択され「*」が付けられた項目のみに絞り込んで表示します。
数値	数値データ表示に切り替えます。
グラフ	グラフ1表示に切り替えます。
グラフ2	グラフ2表示に切り替えます。
レンジ	グラフ表示時、レンジの変更が可能となります。操作方法に関しては「3.11.3.レンジ変更」をご参照ください。
スタート	ランモードに移行します。
トリガ	トリガ設定を実行します。詳細は「3.11.4.トリガ設定」をご参照ください。
クリア	現在選択中の項目をすべて選択解除にします。
画面保存	画面のハードコピーを保存します。
全選択	全選択モードに切り替えます。

3.11.3. レンジ変更

グラフ表示時、ファンクション「レンジ」を実行すると、時間軸レンジ、項目レンジを変更することができます。

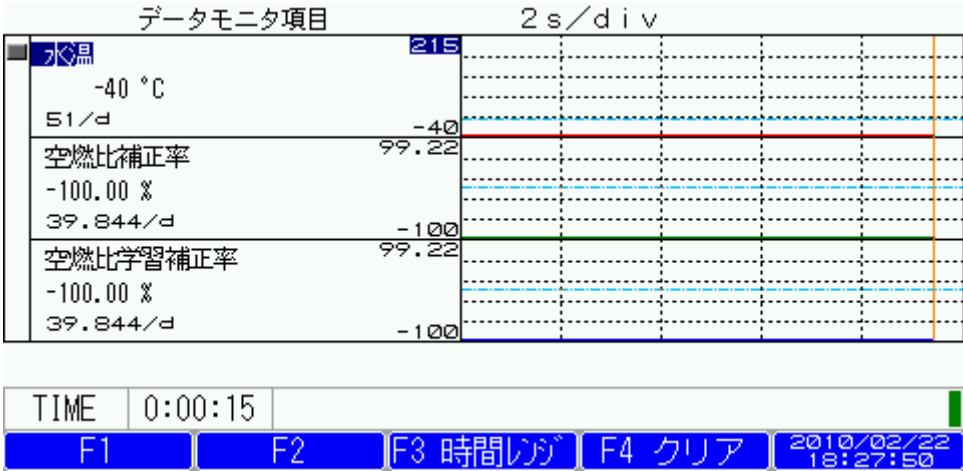
3.11.3.1. 時間軸レンジ変更

グラフ表示の時間軸レンジ(横軸レンジ)を変更できます。

<操作方法>

←/→	レンジの変更を行ないます。
YES	変更したレンジを確定し、「レンジ」が実行されたモードを再実行します。
C	レンジ変更を中止し、「レンジ」が実行されたモードを再実行します。
F3	「3.11.3.2.項目レンジ変更」を実行します。

3.11.3.2. 項目レンジ変更

グラフ表示の項目レンジ(縦軸レンジ)を変更できます。

データモニタ項目　　2s/div
水温　215
-40 °C
51/d　-40
空燃比補正率　99.22
-100.00 %
39.844/d　-100
空燃比学習補正率　99.22
-100.00 %
39.844/d　-100
TIME　0:00:15
F1　F2　F3 時間ﾚﾝｼﾞ　F4 クリア　2010/02/22 18:27:50

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。 レンジが表示されていない項目は項目名のみのカーソル移動となりレンジの変更はできません。
←/→	カーソルのレンジ値が増減します。 キーを押し続けるとレンジ値の変更量が増加します。 カーソルのレンジ値が初期値から変更されている場合は文字色が水色で表示されます。
YES	変更したレンジを確定し、「レンジ」が実行されたモードを再実行します。
C	レンジ変更を中止し、「レンジ」が実行されたモードを再実行します。
F3	「3.11.3.1.時間軸レンジ変更」を実行します。
F4	カーソルのレンジ値が初期値に戻ります。 カーソルの文字色が白色で表示されます。

3.11.4. トリガ設定

データ表示では、ランモード時「エンジン回転速度が何回転以上になった時」(レベルトリガ)や、「何らかの故障コードが発生した時」(コードトリガ)等の条件で自動的にデータをホールドすることができます。

トリガを設定するには、数値データ表示もしくはグラフ表示でファンクション「トリガ」を実行してください。

トリガ設定
1.トリガ　OFF　コード　レベル
2.項目　空燃比フィードバック制御
3.スロープ条件　↑　↓　↑/↓
4.レベル　オープン1
5.表示ポイント　1/5　2/5　3/5　4/5
6.ホールド時間　0S　30S　60S
項目移動：UP/DOWNキー、　選択：LEFT/RIGHTキー
更新：YESキー、キャンセル：Cキー
F1　F2　F3　F4　2007/01/16 15:04:58

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
←/→	設定の変更を行ないます。
YES	設定したトリガを確定し、「トリガ」が実行されたモードを再実行します。
C	トリガ設定を中止し、「トリガ」が実行されたモードを再実行します。

<トリガ設定値>

トリガ	OFF	トリガの設定を解除します。
	コード	コードトリガ。故障コード数に変化があった場合にトリガとします。
	レベル	レベルトリガ。「項目」の値が「レベル」を「スロープ条件」でまたいだ際にトリガとします。
項目	レベルトリガの対象となる項目を選択します。 ランモード時画面に表示されている項目と画面外で選択されている項目が選択できます。	
スロープ条件	↑	レベル値以下からレベル値を超えた場合にトリガとします。
	↓	レベル値以上からレベル値未満になった場合にトリガとします。
	↑/↓	レベル値をまたいだ場合すべてをトリガとします。
レベル	レベルトリガのレベル値を設定します。	
表示ポイント	1/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸1/5点にして表示します。
	2/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸2/5点にして表示します。
	3/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸3/5点にして表示します。
	4/5	ホールド時トリガ点を画面上の時間軸4/5点にして表示します。
ホールド時間	0s	トリガが発生したらすぐにホールドします。
	30s	トリガが発生してから30秒後にホールドします。
	60s	トリガが発生してから60秒後にホールドします。

3.11.5. データ保存

ランモードによって取得したデータを、CFカードのデータ保存エリアに保存することができます。保存されたデータはいつでも参照することができます。

データ保存確認画面

<操作方法>

YES	データ保存を実行します。
NO	データ保存を中止し、「データ保存」が実行されたモードを再実行します。

上記画面でYESを押すとデータ保存が実行されます。

※　保存中は絶対に電源を切らないでください。保存データエリアが破壊され、他の保存データが表示できなくなることがあります。

また、データ保存が完了すると下記の確認メッセージが表示されます。

データ保存完了画面

<操作方法>

YES	「データ保存」が実行されたモードを再実行します。

3.11.6. 全選択モード

全選択モードと通常モードでは下図のように通信対象が変更になります。

通信対象

通常モード	表示項目+YES キーによって*マークが付き選択された項目
全選択モード	全項目

※ 全選択モードでは通信対象が増える為、サンプリングスピードが通常モードに比べ遅くなります。

※ 全選択モードではYESキーによって*マークが付いた項目を選択絞込すると、通常モードと同様に選択項目が通信対象となります。

F1 全解除で通常モードに戻れます。

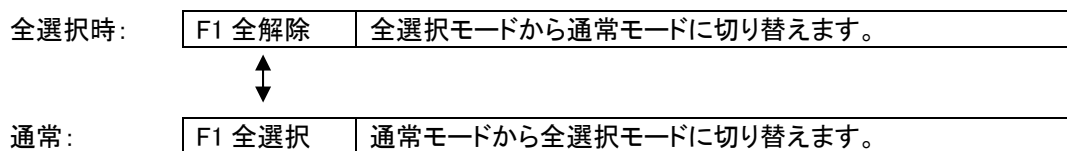
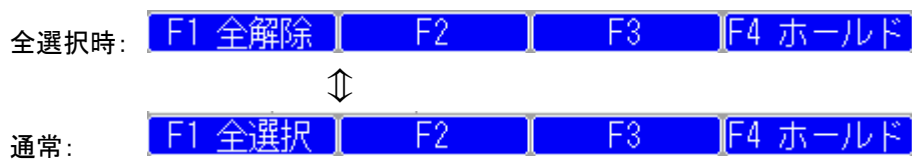
全選択時: | F1 全解除 | F2 | F3 | F4 ホールド |

⇕

通常: | F1 全選択 | F2 | F3 | F4 ホールド |

全選択時: | F1 全解除 | 全選択モードから通常モードに切り替えます。 |

↕

通常: | F1 全選択 | 通常モードから全選択モードに切り替えます。 |

3.12. メーター表示

データ表示項目「水温」「車速」「エンジン回転数」のモニタ値をメーター形式でリアルタイム表示します。

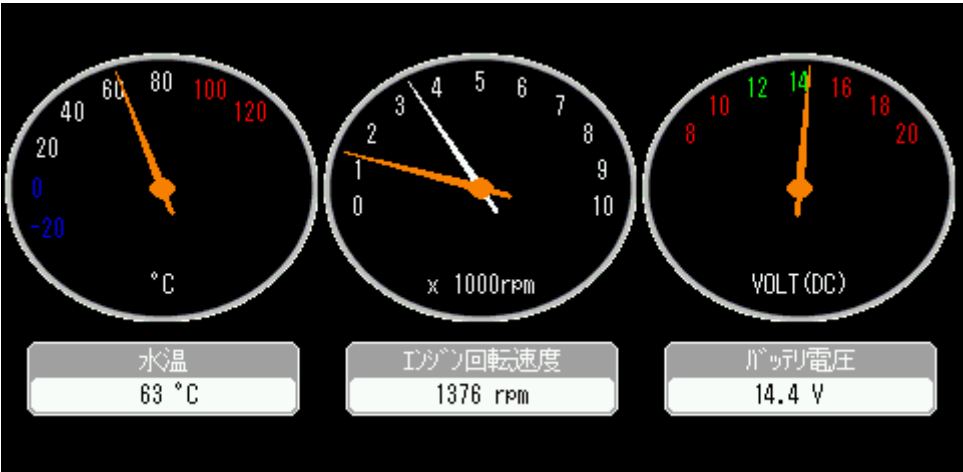
3.12.1. メーター表示項目選択メニュー

メーター表示は3つの項目を同時表示します。 表示する項目の組み合わせを一覧から選択してください。

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	カーソル上の組み合わせで「3.12.2.メーター表示」を実行します。
C	前の画面に戻ります。

3.12.2. メーター表示

「3.12.1.メーター表示項目選択メニュー」で選択された項目をメーター表示します。

<操作方法>

C	前の画面に戻ります。
F4	画面のハードコピーを保存します。

3.13. アクティブテスト

本機能は、ダイアグコードの点検や現在のデータ表示などの診断結果に基づき、故障原因を追求する為に活用する機能です。テスト対象アクチュエータを車両ECUの指令(出力)から切り離し、診断機から強制的に駆動することで、作動良否点検などを行います。

⚠ 警告	**アクティブテストは、対象車両の整備マニュアルによりテスト対象アクチュエータの内容を十分理解した上で行ってください。** **使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。**

⚠ 注意	**アクティブテストの項目によっては実行後、コントロールユニットにダイアグコードが記録される場合があります。テスト実行前ならびに実行後に「ダイアグコードの点検」でコントロールユニットに記録されているされているダイアグコードを確認してください。** ※　アクティブテストの実行によって発生したダイアグコードは「ダイアグコードのクリア」によって消去してください。

3.13.1. アクティブテストメニュー

診断車両がサポートしているテスト項目をメニュー表示します。本アプリケーションがサポートしているテスト項目は「4.アクティブテスト項目一覧」をご参照ください。

アクティブテストメニュー
イニシャル点火時期固定
F1 ﾃｽﾄ内容説明 F2 F3 F4 2007/01/16 15:27:25

アクティブテストメニュー
減圧動作点検
増圧動作点検
センサー括校正
整備モード
F1 ﾃｽﾄ内容説明 F2 F3 F4 2007/01/16 15:36:26

アクティブテストメニュー
ライト系
ドア系
その他
F1 ﾃｽﾄ内容説明 F2 F3 F4 2006/12/06 09:41:11

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	イニシャル点火時期固定の場合は「3.13.2.イニシャル点火時期固定」を実行します。 減圧動作点検/増圧動作点検の場合は「3.13.3.減圧動作点検/増圧動作点検」を実行します。 センサー括校正の場合は「3.13.4.センサー括校正」を実行します。 整備モードの場合は「3.13.5.整備モード」を実行します。 ライト系の場合は「3.13.7.ライト系」を実行します。 ドア系の場合は「3.13.8.ドア系」を実行します。 その他の場合は「3.13.9.その他」を実行します。
C	処理を中止し、故障診断メニューに戻ります。
F1	選択されているテスト項目の内容説明を表示します。

3.13.2. イニシャル点火時期固定

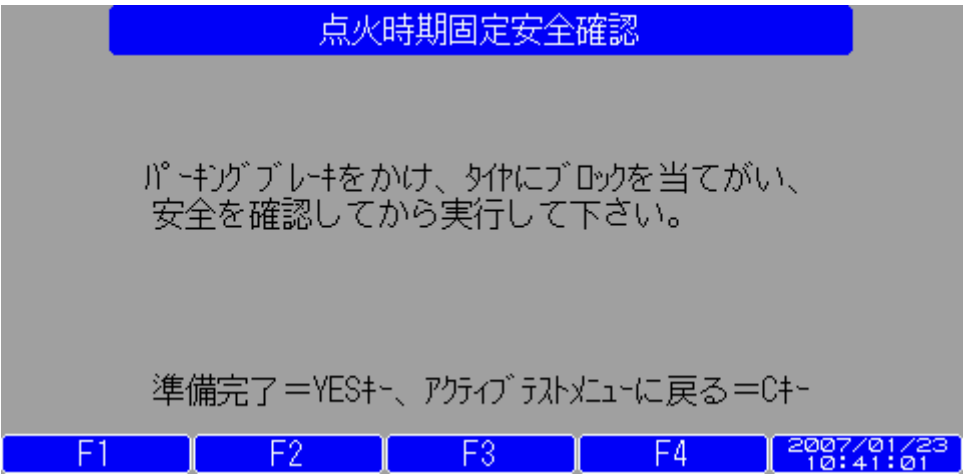
3.13.2.1. 安全確認画面表示

イニシャル点火時期固定を選択すると安全確認画面が表示されます。

点火時期固定安全確認

ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾚｰｷをかけ、ﾀｲﾔにﾌﾞﾛｯｸを当てがい、
安全を確認してから実行して下さい。

準備完了＝YESｷｰ、ｱｸﾃｨﾌﾞﾃｽﾄﾒﾆｭｰに戻る＝Cｷｰ

F1 F2 F3 F4 2007/01/23 10:41:01

<操作方法>

YES	テストを実行します。 但し、本操作の段階では、まだアクチュエータの強制駆動は実行されません。
C	前の画面に戻ります。

3.13.2.2. イニシャル点火時期固定テスト実行

安全確認画面でYESを押すと、実行画面操作説明画面が表示されます。更にYESを押すと「3.11.現在のデータ表示/保存」と同様のデータ表示画面が表示されます。

デフォルトの状態で割り付けられているファンクション「F1 アクティブ実行」、「F2 アクティブ中止」以外は通常のデータ表示と同じです。操作方法は「3.11.現在のデータ表示/保存」をご参照ください。なお、Cキー入力時は「3.13.1.アクティブテストメニュー」に戻ります。

(1) 初期/強制駆動無効状態

この状態では、アクチュエータは強制駆動されておりません。

項目	値	最小	平均	最大
空燃比フィードバック制御	クローズ	-	-	-
水温	84 °C	84	84	84
空燃比補正率	-10.16 %	-10.16	-8.59	-7.81
空燃比学習補正率	-3.91 %	-3.91	-3.91	-3.91
吸気管絶対圧	36 kPa	36	37	39
エンジン回転速度	906 rpm	895	902	914
車速	0 km/h	0	0	0
点火時期	8.0 °BTDC	7.0	8.5	11.0
吸気温	25 °C	25	25	25
スロットル開度	0 %	0	0	0

TIME 0:00:10

F1 アクティブ実行 | F2 アクティブ中止 | F3 | F4 ホールド | 2007/01/23 18:49:18

強制駆動未実行の状態で「F1 アクティブ実行」を押すと、アクチュエータ強制駆動を開始します。

(2) 強制駆動開始状態

強制駆動開始時は、車両へ強制駆動要求を送信すると共に、制御内容を含む強制駆動実行コメントが約2秒間表示されます。

イニシャル点火時期固定を実行します

項目	値	最小	平均	最大
空燃比フィードバック制御	クローズ	-	-	-
水温	84 °C	84	84	84
空燃比補正率	-10.16 %	-10.16	-8.59	-7.81
空燃比学習補			1	-3.91
吸気管絶対圧			7	39
エンジン回転速			2	914
車速	0 km/h	0	0	0
点火時期	8.0 °BTDC	7.0	8.5	11.0
吸気温	25 °C	25	25	25
スロットル開度	0 %	0	0	0

TIME 0:00:10

F1 アクティブ実行 | F2 アクティブ中止 | F3 | F4 ホールド | 2007/01/23 18:49:18

(3) 強制駆動中

強制駆動実行コメント表示後、データ表示画面に戻ります。強制駆動実行中はTIME表示がオレンジ色に変わります。

項目	値	最小	平均	最大
空燃比フィードバック制御	オープン2	-	-	-
水温	84 °C	84	84	84
空燃比補正率	0.00 %	-10.16	-8.59	0.00
空燃比学習補正率	-3.91 %	-3.91	-3.91	-3.91
吸気管絶対圧	37 kPa	36	37	39
エンジン回転速度	871 rpm	871	900	914
車速	0 km/h	0	0	0
点火時期	5.0 °BTDC	5.0	8.0	12.0
吸気温	25 °C	25	25	25
スロットル開度	0 %	0	0	0

TIME 0:00:18

F1 アクティブ実行 | F2 アクティブ中止 | F3 | F4 ホールド | 2007/01/23 16:49:26

(4) 強制駆動中止

強制駆動実行中に「F2 アクティブ中止」を押すと、アクチュエータの強制駆動を中止し、強制駆動中止コメントが約2秒間表示されます。

項目	値	最小	平均	最大
空燃比フィードバック制御	クローズ	-	-	-
水温	84 °C	84	84	84
空燃比補正率	-10.16 %	-10.16	-7.81	0.00
空燃比学習補正率	-3.91 %	-3.91	-3.91	-3.91
吸気管絶対	[illegible]	[illegible]	[illegible]	39
エンジン回転速	[illegible]	[illegible]	[illegible]	914
車速	[illegible]	[illegible]	[illegible]	0
点火時期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	12.0
吸気温	26 °C	25	25	26
スロットル開度	0 %	0	0	0

イニシャル点火時期固定を中止します

TIME 0:00:27

F1 アクティブ実行 | F2 アクティブ中止 | F3 | F4 ホールド | 2007/01/23 16:49:35

強制駆動中止コメント表示後は、強制駆動無効状態に戻ります。

3.13.3. 減圧動作点検/増圧動作点検

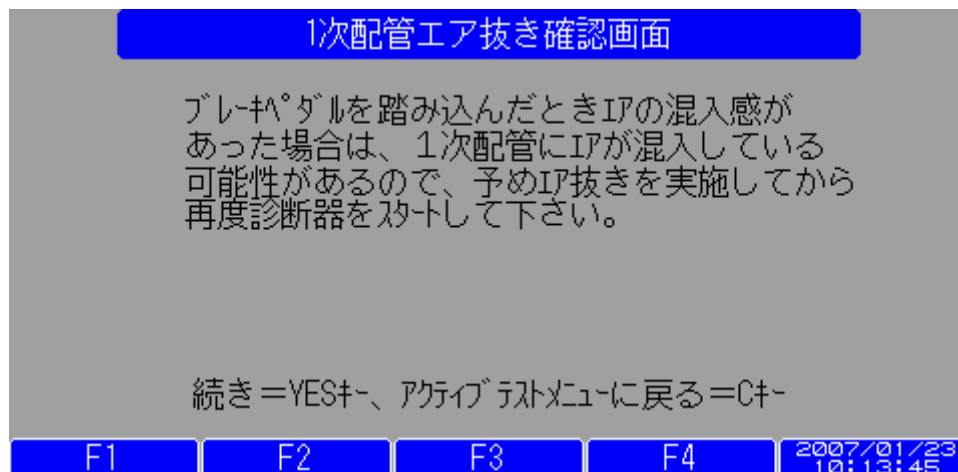
3.13.3.1. 1次配管エア抜き画面表示

減圧動作点検又は増圧動作点検を選択すると、1次配管エア抜き確認画面が表示されます。
表示されている内容に従って、操作を行なってください。

1次配管エア抜き確認画面

ﾌﾞﾚｰｷﾍﾟﾀﾞﾙを踏み込んだときｴｱの混入感が
あった場合は、1次配管にｴｱが混入している
可能性があるので、予めｴｱ抜きを実施してから
再度診断器をｽﾀｰﾄして下さい。

続き＝YESｷｰ、ｱｸﾃｨﾌﾞﾃｽﾄﾒﾆｭｰに戻る＝Cｷｰ

F1 F2 F3 F4 2007/01/23 10:13:45

<操作方法>

YES	「3.13.3.2.2WDモード確認画面表示」を実行します。
C	前の画面に戻ります。

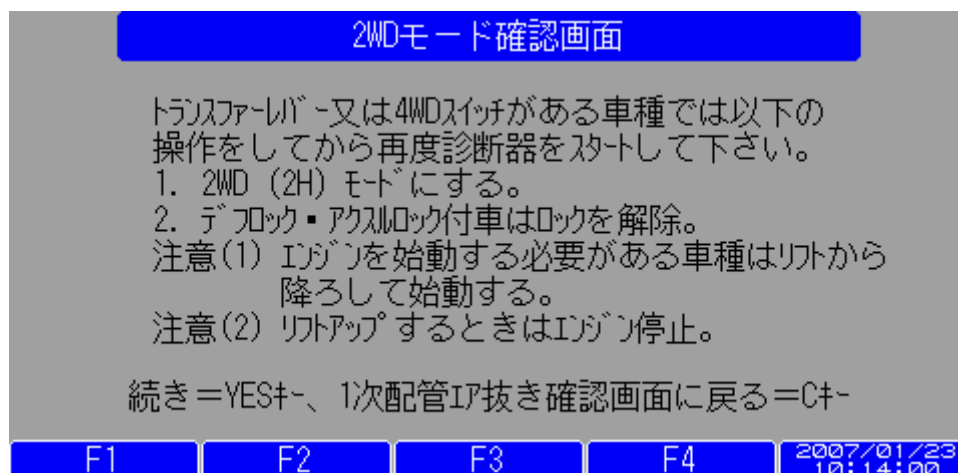
3.13.3.2. 2WDモード確認画面表示

1次配管エア抜き画面でYESを押すと、2WDモード確認画面が表示されます。
表示されている内容に従って、操作を行なってください。

2WDモード確認画面

ﾄﾗﾝｽﾌｧｰﾚﾊﾞｰ又は4WDｽｲｯﾁがある車種では以下の
操作をしてから再度診断器をｽﾀｰﾄして下さい。
1. 2WD（2H）ﾓｰﾄﾞにする。
2. ﾃﾞﾌﾛｯｸ・ｱｸｽﾙﾛｯｸ付車はﾛｯｸを解除。
注意(1) ｴﾝｼﾞﾝを始動する必要がある車種はﾘﾌﾄから
降ろして始動する。
注意(2) ﾘﾌﾄｱｯﾌﾟするときはｴﾝｼﾞﾝ停止。

続き＝YESｷｰ、1次配管ｴｱ抜き確認画面に戻る＝Cｷｰ

F1 F2 F3 F4 2007/01/23 10:14:00

<操作方法>

YES	「3.13.3.3.準備完了確認画面表示」を実行します。
C	「3.13.3.1.1次配管エア抜き画面表示」に戻ります。

3.13.3.3. 準備完了確認画面表示

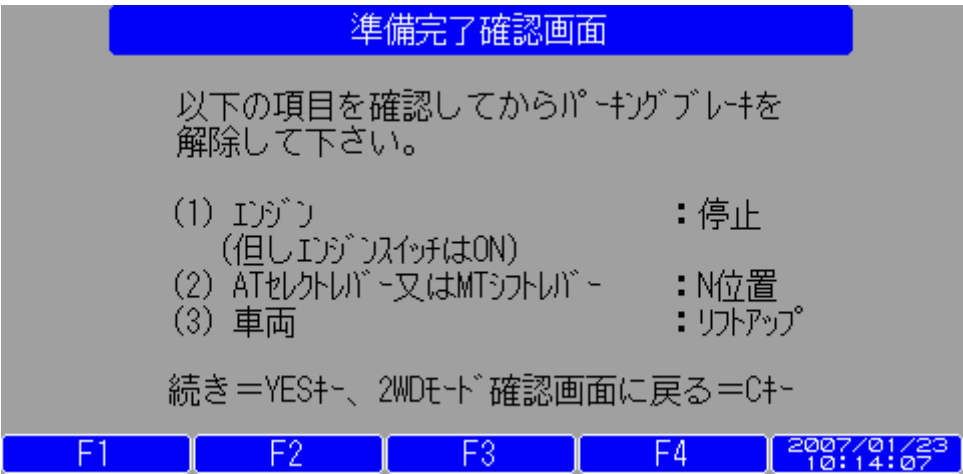
2WDモード確認画面でYESを押すと、準備完了確認画面が表示されます。
表示されている内容に従って、操作を行なってください。

準備完了確認画面

以下の項目を確認してからﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾚｰｷを
解除して下さい。

(1) ｴﾝｼﾞﾝ　：停止
(但しｴﾝｼﾞﾝｽｲｯﾁはON)
(2) ATｾﾚｸﾄﾚﾊﾞｰ又はMTｼﾌﾄﾚﾊﾞｰ　：N位置
(3) 車両　：ﾘﾌﾄｱｯﾌﾟ

続き＝YESｷｰ、2WDﾓｰﾄﾞ確認画面に戻る＝Cｷｰ

F1 F2 F3 F4 2007/01/23 10:14:07

<操作方法>

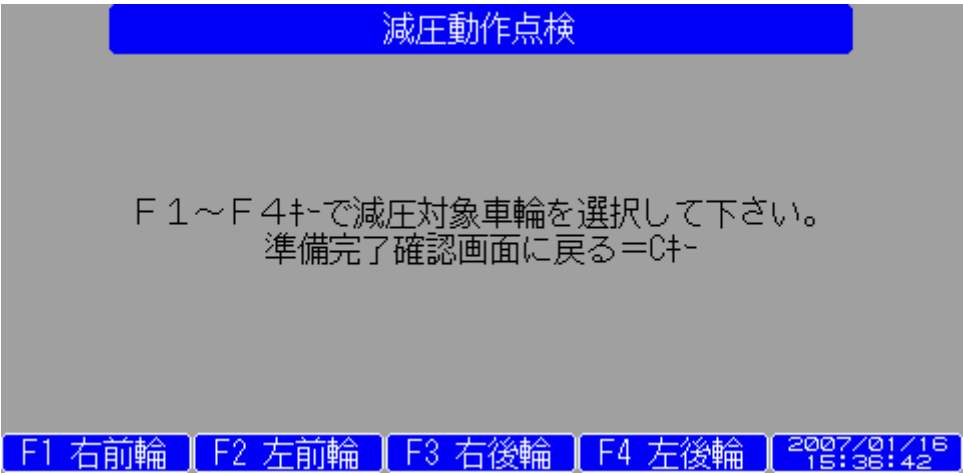
YES	アクティブテストメニューで減圧動作点検を選択した場合は「3.13.3.4.減圧車輪選択画面表示」を実行します。 増圧動作点検を選択した場合は「3.13.3.6.増圧車輪選択画面表示」を実行します。
C	「3.13.3.2.2WDモード確認画面表示」に戻ります。

3.13.3.4. 減圧車輪選択画面表示

減圧動作点検を選択した場合は、「3.13.3.3.準備完了確認画面表示」でYESを押すと、減圧車輪選択画面が表示されます。

減圧動作点検

Ｆ１～Ｆ４ｷｰで減圧対象車輪を選択して下さい。
準備完了確認画面に戻る＝Cｷｰ

F1 右前輪 F2 左前輪 F3 右後輪 F4 左後輪 2007/01/16 15:36:42

<操作方法>

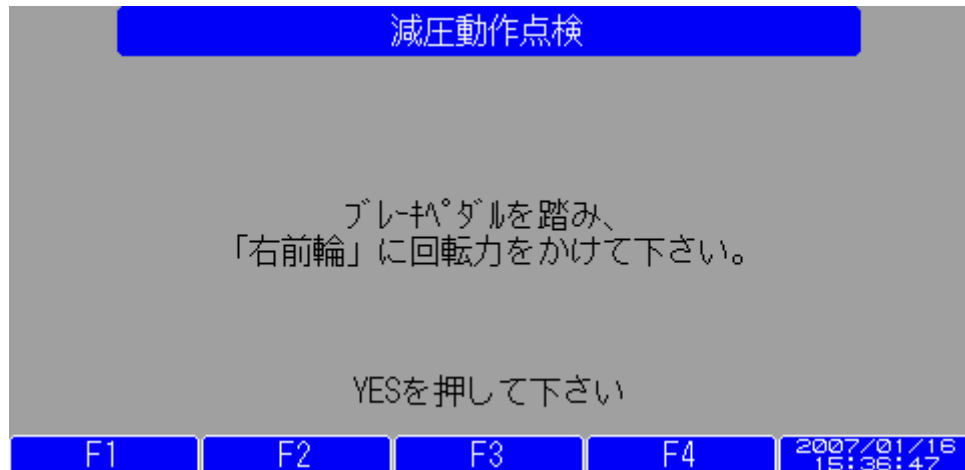
F1～F4	表示されている車輪を対象として「3.13.3.5.減圧動作点検」を実行します。
C	「3.13.3.3.準備完了確認画面表示」に戻ります。

3.13.3.5. 減圧動作点検

「3.13.3.4.減圧車輪選択画面表示」でYESを押すと、減圧動作点検実行前画面が表示されます。

(1) 減圧動作点検実行前画面

YESを押すと減圧駆動要求通信を実行し、減圧動作点検中画面を表示します。

減圧動作点検				
ﾌﾞﾚｰｷﾍﾟﾀﾞﾙを踏み、 「右前輪」に回転力をかけて下さい。 YESを押して下さい				
F1	F2	F3	F4	2007/01/16 15:36:47

(2) 減圧動作点検中画面

減圧動作要求通信を行なっている間表示され、通信が成功した場合、減圧動作点検終了画面を表示します。

減圧動作点検				
[右前輪] 減圧中				
F1	F2	F3	F4	2007/01/16 15:36:52

(3) 減圧動作点検終了画面

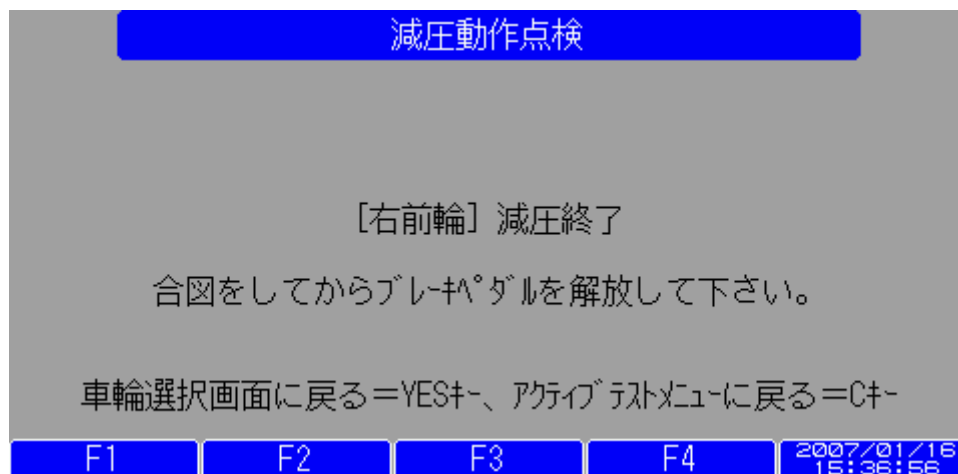
減圧動作要求通信が正常に終了した場合に表示されます。
表示されている内容に従って、操作を行なってください。

減圧動作点検

[右前輪] 減圧終了

合図をしてからﾌﾞﾚｰｷﾍﾟﾀﾞﾙを解放して下さい。

車輪選択画面に戻る＝YESｷｰ、ｱｸﾃｨﾌﾞﾃｽﾄﾒﾆｭｰに戻る＝Cｷｰ

F1 F2 F3 F4 2007/01/16 15:36:56

<操作方法>

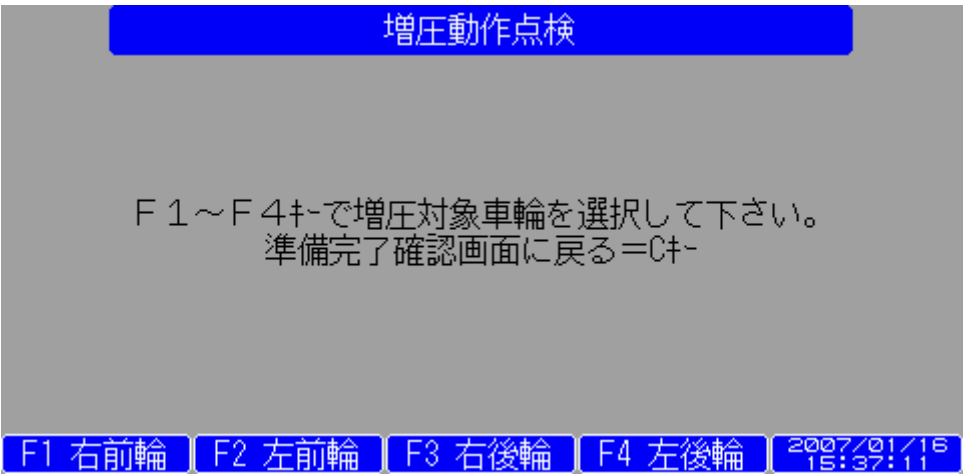
YES	「3.13.3.4.減圧車輪選択画面表示」に戻ります。
C	「3.13.1.アクティブテストメニュー」に戻ります。

3.13.3.6. 増圧車輪選択画面表示

増圧動作点検を選択した場合は、「3.13.3.3.準備完了確認画面表示」でYESを押すと、増圧車輪選択画面が表示されます。

増圧動作点検

Ｆ１～Ｆ４ｷｰで増圧対象車輪を選択して下さい。
準備完了確認画面に戻る＝Cｷｰ

F1 右前輪 F2 左前輪 F3 右後輪 F4 左後輪 2007/01/16 15:37:11

<操作方法>

F1～F4	表示されている車輪を対象として「3.13.3.7.増圧動作点検」を実行します。
C	「3.13.3.3.準備完了確認画面表示」に戻ります。

3.13.3.7. 増圧動作点検

「3.13.3.6.増圧車輪選択画面表示」でYESを押すと、増圧動作点検実行前画面が表示されます。

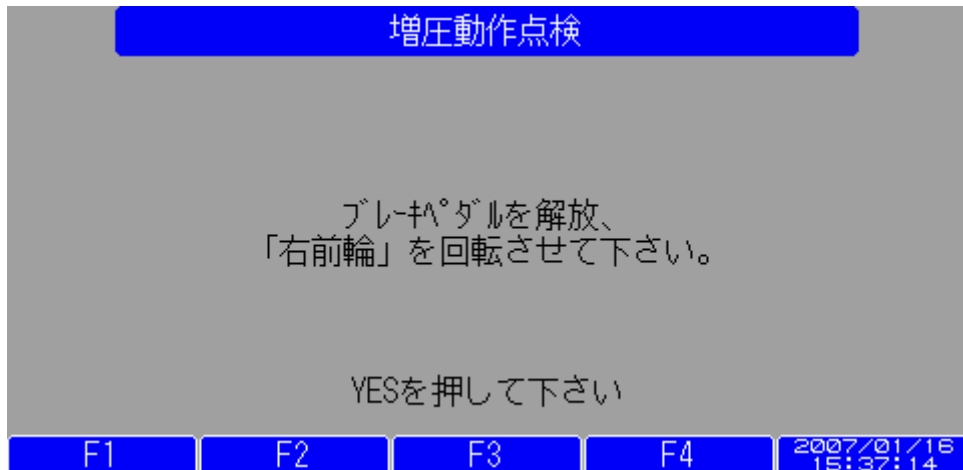
(1) 増圧動作点検実行前画面

YESを押すと増圧駆動要求通信を実行し、増圧動作点検中画面を表示します。

増圧動作点検

ﾌﾞﾚｰｷﾍﾟﾀﾞﾙを解放、
「右前輪」を回転させて下さい。

YESを押して下さい

F1	F2	F3	F4	2007/01/16 15:37:14

(2) 増圧動作点検中画面

増圧動作要求通信を行なっている間表示され、通信が成功した場合、増圧動作点検終了画面を表示します。

増圧動作点検

[右前輪] 増圧中

F1	F2	F3	F4	2007/01/16 15:37:18

(3) 増圧動作点検終了画面

増圧動作要求通信が正常に終了した場合に表示されます。
表示されている内容に従って、操作を行なってください。

増圧動作点検

[右前輪] 増圧終了

車輪選択画面に戻る=YESｷｰ、ｱｸﾃｨﾌﾞ ﾃｽﾄﾒﾆｭｰに戻る=Cｷｰ

F1 F2 F3 F4 2007/01/16 15:37:22

＜操作方法＞

YES	「3.13.3.6.増圧車輪選択画面表示」に戻ります。
C	「3.13.1.アクティブテストメニュー」に戻ります。

3.13.4. センサー括校正

3.13.4.1. 注意画面表示

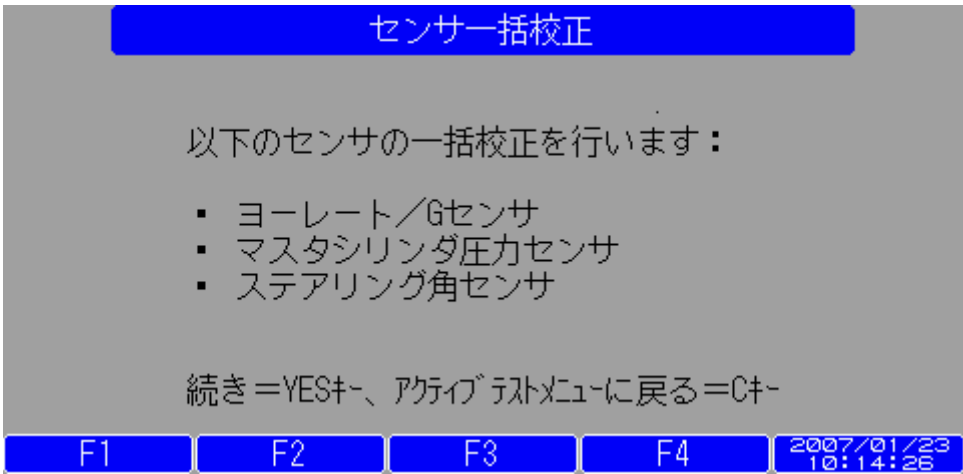
センサー一括校正を選択すると、注意画面が表示されます。

センサー括校正

以下のセンサの一括校正を行います：

- ヨーレート／Gセンサ
- マスタシリンダ圧力センサ
- ステアリング角センサ

続き＝YESｷｰ、ｱｸﾃｨﾌﾞﾃｽﾄﾒﾆｭｰに戻る＝Cｷｰ

F1 F2 F3 F4 2007/01/23 10:14:26

<操作方法>

YES	「3.13.4.2.準備完了確認画面表示」を実行します。
C	前の画面に戻ります。

3.13.4.2. 準備完了確認画面表示

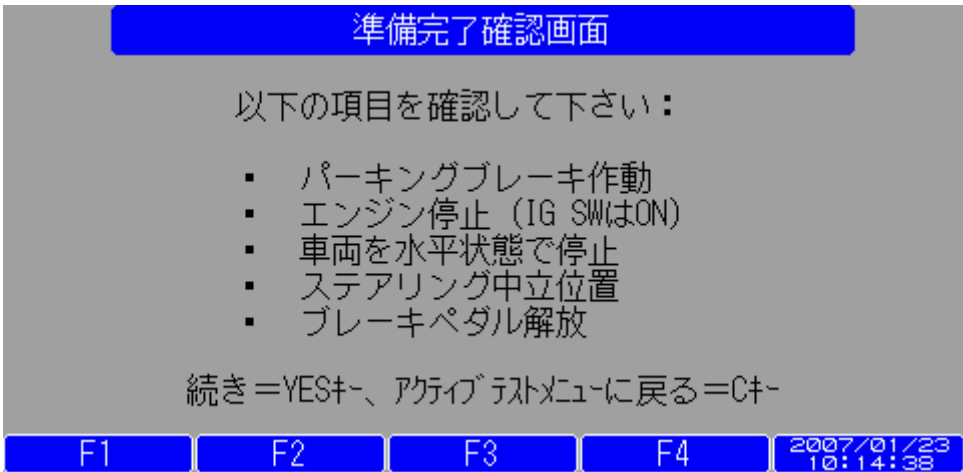
注意画面でYESを押すと、準備完了確認画面が表示されます。
表示されている内容に従って、確認を行なってください。

準備完了確認画面

以下の項目を確認して下さい：

- パーキングブレーキ作動
- エンジン停止（IG SWはON）
- 車両を水平状態で停止
- ステアリング中立位置
- ブレーキペダル解放

続き＝YESｷｰ、ｱｸﾃｨﾌﾞﾃｽﾄﾒﾆｭｰに戻る＝Cｷｰ

F1 F2 F3 F4 2007/01/23 10:14:38

<操作方法>

YES	「3.13.4.3.センサー一括校正処理」を実行します。
C	前の画面に戻ります。

3.13.4.3. センサー括校正処理

準備完了確認画面でYESを押すと、センサー一括校正通信を実行し、センサー一括校正中画面が表示されます。

(1) センサー一括校正中画面

センサー一括校正通信を行なっている間表示され、通信が成功した場合、センサー一括校正終了画面が表示されます。

センサー一括校正

しばらくお待ち下さい。

F1 F2 F3 F4 2007/01/16 15:37:32

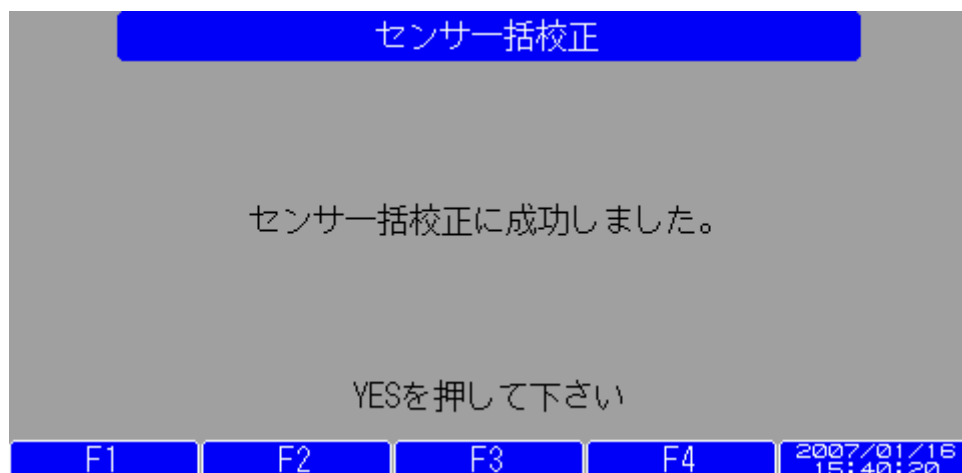
(2) センサー一括校正終了画面

センサー一括校正が正常に終了した場合に表示されます。

センサー一括校正

センサー一括校正に成功しました。

YESを押して下さい

F1 F2 F3 F4 2007/01/16 15:40:20

<操作方法>

YES	「3.13.1.アクティブテストメニュー」へ戻ります。

3.13.5. 整備モード

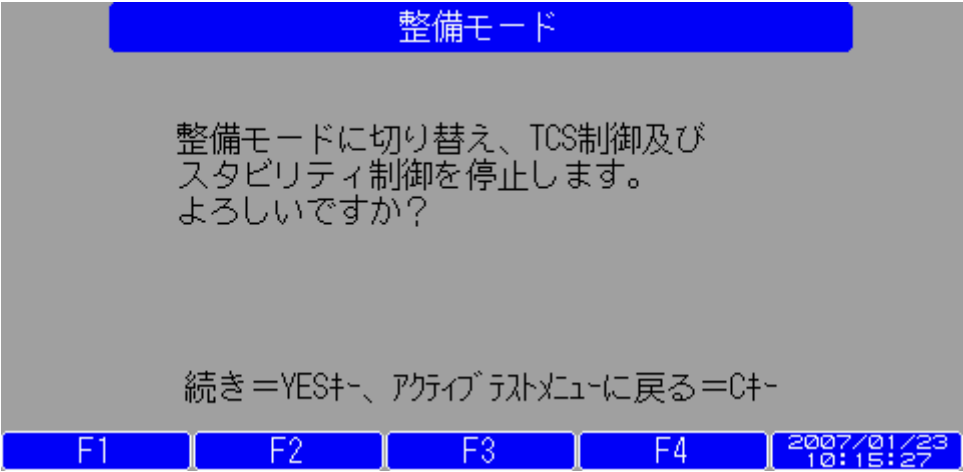
3.13.5.1. 注意画面表示

整備モードを選択すると、注意画面が表示されます。
表示されている内容に従って、操作を行なってください。

整備モード

整備モードに切り替え、TCS制御及び
スタビリティ制御を停止します。
よろしいですか？

続き＝YESｷｰ、ｱｸﾃｨﾌﾞ ﾃｽﾄﾒﾆｭｰに戻る＝Cｷｰ

F1 F2 F3 F4 2007/01/23 10:15:27

<操作方法>

YES	「3.13.5.2.整備モード切り替え処理」を実行します。
C	前の画面に戻ります。

3.13.5.2. 整備モード切り替え処理

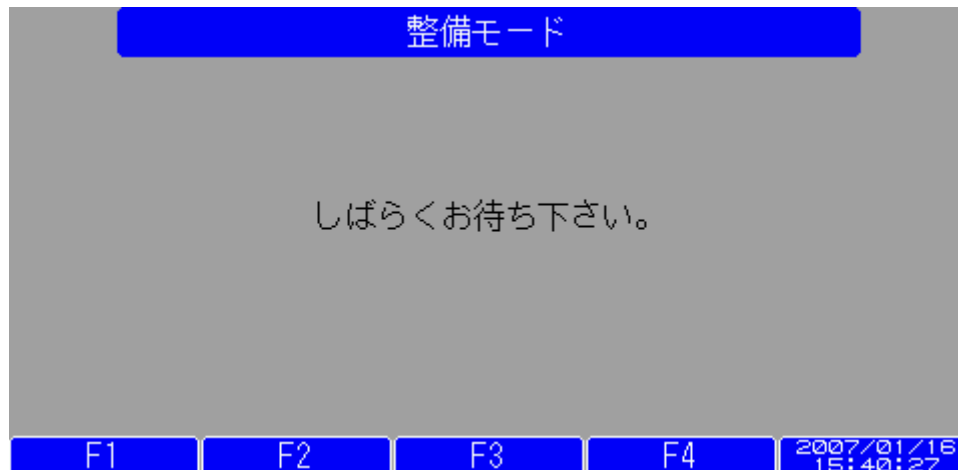
注意画面でYESを押すと、整備モード切り替え要求通信を実行し、整備モード切り替え中画面が表示されます。

(1) 整備モード切り替え中画面

整備モード切り替え要求通信を行なっている間表示され、通信が成功した場合、整備モード切り替え終了画面が表示されます。

整備モード

しばらくお待ち下さい。

F1 F2 F3 F4 2007/01/16 15:40:27

(2) 整備モード切り替え終了画面

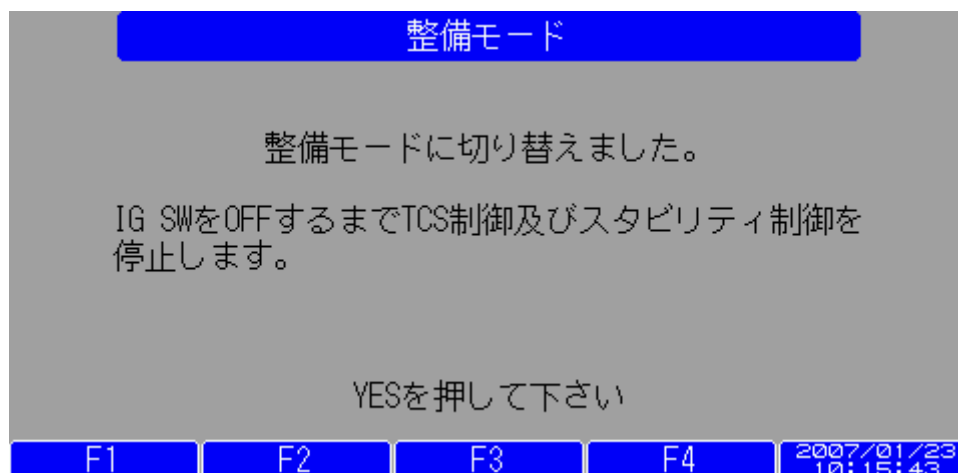
整備モード切り替えが正常に終了した場合に表示されます。

整備モード

整備モードに切り替えました。

IG SWをOFFするまでTCS制御及びスタビリティ制御を停止します。

YESを押して下さい

F1 F2 F3 F4 2007/01/23 10:15:43

<操作方法>

YES	「3.13.1.アクティブテストメニュー」へ戻ります。

3.13.6. テスト条件監視

各テスト項目は、車両状態が特定の状態でのみ実行できます。以下イベント時にテスト条件の監視を実行します。

〈監視実行イベント〉

① 各テストの要求通信前

② イニシャル点火時期固定テスト実行中(リアルタイム)

テスト条件から外れている場合は、車両状態の指示コメントが表示されますので、表示コメントに従い車両を操作してください。

3.13.7. ライト系

ライト系のアクティブテスト項目が表示されます。

ライト系

項目	値
Fﾌｫｸﾞﾗﾝﾌﾟﾘﾚｰ駆動	OFF
ｽﾓｰﾙﾗﾝﾌﾟﾘﾚｰ駆動	OFF
ﾍｯﾄﾞﾗﾝﾌﾟﾘﾚｰ駆動	OFF
ﾙｰﾑﾗﾝﾌﾟ駆動	OFF
ﾊｻﾞｰﾄﾞ駆動	OFF

F1	ON	OFF	F4	2008/06/18 08:34:46

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
ON	カーソル上のテスト項目を実行します。
OFF	カーソル上のテスト項目を解除します。
C	前の画面に戻ります。

3.13.8. ドア系

ドア系のアクティブテスト項目が表示されます。

ドア系

項目	値
ﾄﾞｱﾛｯｸ駆動	OFF
ﾊﾞｯｸﾄﾞｱｵｰﾌﾟﾝ駆動	OFF

F1	ON	OFF	F4	2008/06/18 09:26:04

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
ON	カーソル上のテスト項目を実行します。
OFF	カーソル上のテスト項目を解除します。
C	前の画面に戻ります。

3.13.9. その他

その他のアクティブテスト項目が表示されます。

その他

項目	値
ﾃﾞｱｲｻ駆動	OFF
ﾘﾔﾃﾞﾌｫｯｶﾞ駆動	OFF
ﾎｰﾝ駆動	OFF
ﾘﾔﾜｲﾊﾟ駆動	OFF
ｱﾗｰﾑｲﾝｼﾞｹｰﾀ駆動	OFF
警告ﾌﾞｻﾞｰ駆動	OFF

F1	ON	OFF	F4	2008/06/18 09:28:53

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
ON	カーソル上のテスト項目を実行します。
OFF	カーソル上のテスト項目を解除します。
C	前の画面に戻ります。

3.14. コントローラ識別表示

現在診断を行なっているシステムのコントローラ識別コードを表示します。

<操作方法>

YES	「3.7.システム診断メニュー」へ戻ります。

3.15. 設定値クリア

データ表示で使用する設定値をクリアし初期の状態に戻す場合に実行します。

3.15.1. 設定値クリアメニュー

メニュー項目をYESで選択すると、以下参照項の機能をそれぞれ実行します。

メニュー項目	参照項
選択項目	「3.15.2.選択項目クリア」
グラフレンジ	「3.15.3.グラフレンジクリア」

3.15.2. 選択項目クリア

データ表示の選択項目をクリアする場合に実行します。
実行後は選択項目がすべて解除され、データ表示時に「*」がすべて消去されます。

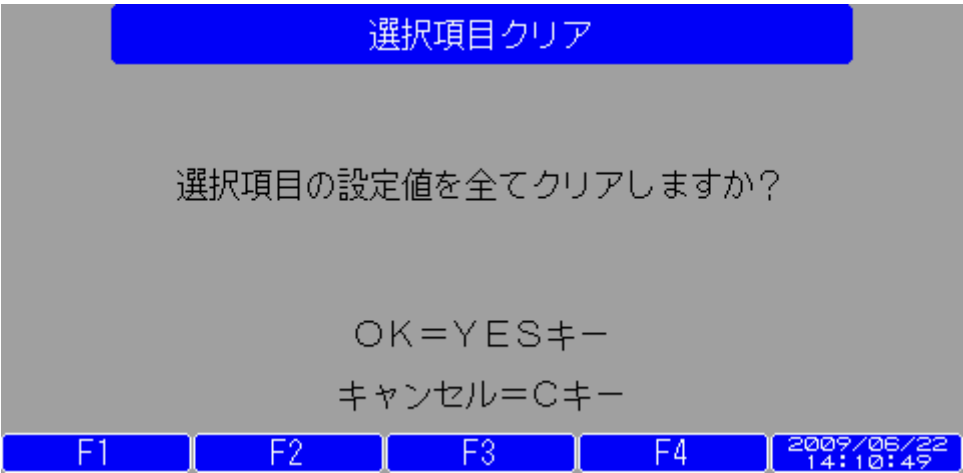
3.15.2.1. 選択項目クリア確認

選択項目クリア

選択項目の設定値を全てクリアしますか？

ＯＫ＝ＹＥＳキー

キャンセル＝Ｃキー

F1 F2 F3 F4 2009/06/22 14:10:49

<操作方法>

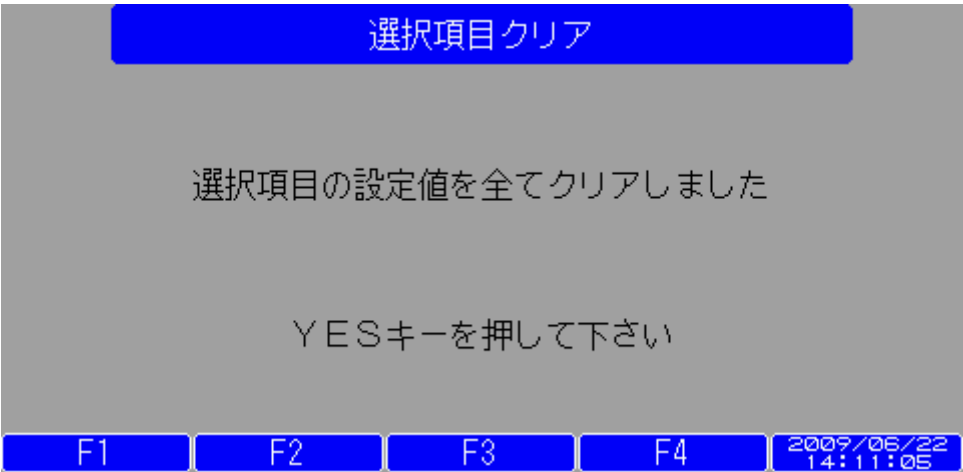
YES	選択項目をクリアし、「3.15.2.2.選択項目クリアメッセージ」を表示します。
C	「3.15.1.設定値クリアメニュー」に戻ります。

3.15.2.2. 選択項目クリアメッセージ

選択項目クリア

選択項目の設定値を全てクリアしました

ＹＥＳキーを押して下さい

F1 F2 F3 F4 2009/06/22 14:11:05

<操作方法>

YES/C	「3.15.1.設定値クリアメニュー」に戻ります。

3.15.3. グラフレンジクリア

データ表示のグラフレンジをクリアする場合に実行します。
実行後は時間軸レンジ、項目レンジの変更がすべてクリアされ、初期の状態に戻ります。

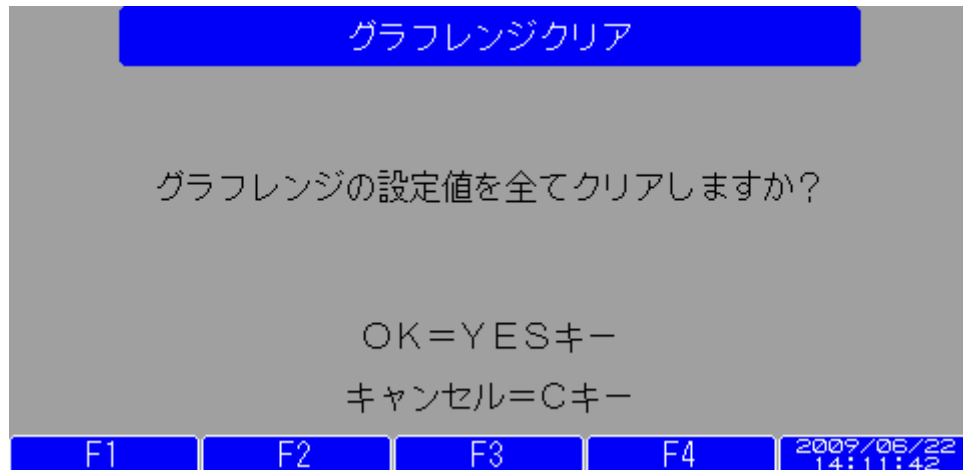
3.15.3.1. グラフレンジクリア確認

グラフレンジクリア

グラフレンジの設定値を全てクリアしますか？

ＯＫ＝ＹＥＳキー

キャンセル＝Ｃキー

F1 F2 F3 F4 2009/06/22 14:11:42

<操作方法>

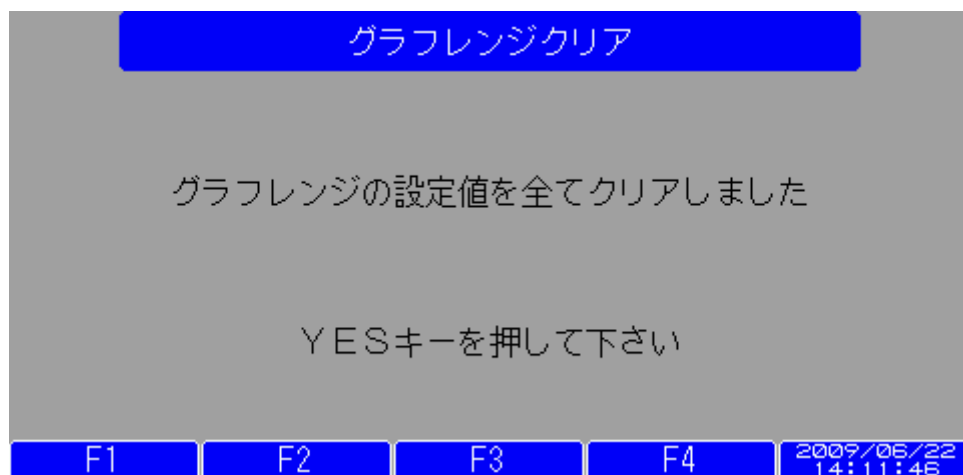
YES	時間軸レンジ、項目レンジをクリアし、「3.15.3.2.グラフレンジクリアメッセージ」を表示します。
C	「3.15.1.設定値クリアメニュー」に戻ります。

3.15.3.2. グラフレンジクリアメッセージ

グラフレンジクリア

グラフレンジの設定値を全てクリアしました

ＹＥＳキーを押して下さい

F1 F2 F3 F4 2009/06/22 14:11:46

<操作方法>

YES/C	「3.15.1.設定値クリアメニュー」に戻ります。

3.16. 保存データの表示

「データ表示」「ダイアグコードの点検」「フリーズフレームデータの点検」によって保存されたデータを再度表示する場合に実行します。

3.16.1. カテゴリー選択

カテゴリーで分けられている「データモニタ項目」「DTC項目」「フリーズフレーム項目」の何れかを選択した場合、選択したカテゴリーの保存データを表示します。

保存データ再表示
データモニタ項目
ＤＴＣ項目
フリーズフレーム項目
F1 F2 F3 F4 2008/09/16 09:52:44

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	カーソル上のカテゴリー項目に絞込み、「保存データの表示」を表示します。
C	「3.7.システム診断メニュー」に戻ります。

3.16.2. 保存データの表示

選択したカテゴリー項目の保存データを表示します。
保存データがない場合、「保存データがありません」を表示します。
※日付の新しい保存データから順に上から表示されます。

[データモニタ項目]

データモニタ項目			
No	システム	ファイル作成日時	区分
1	エンジン	2008/10/24 09:45:19	
2	エンジン	2008/10/17 09:38:25	
3	エンジン	2008/10/16 08:47:06	
4	エンジン	2008/10/16 08:45:04	
5	エンジン	2008/10/15 18:22:45	
6	エンジン	2008/10/15 18:20:07	
7	エンジン	2008/10/15 18:19:31	

F1 データ解析	F2 削除	F3 バックアップ	F4 リストア	2008/11/10 09:24:58

「アクティブテスト」の保存データの場合、区分欄に「A」が表示されます。

[DTC項目]

ＤＴＣ項目			
No	システム	ファイル作成日時	区分
1	AT	2008/11/10 09:20:47	
2	エンジン	2008/11/10 09:10:12	
3	エンジン	2008/11/10 09:00:58	
4	ABS	2008/11/05 09:29:35	
5	エンジン	2008/11/04 17:38:41	
6	エンジン	2008/11/04 17:22:44	
7	エアバッグ	2008/10/30 16:08:31	
8	ABS	2008/10/30 16:08:19	
9	AT	2008/10/30 16:08:04	
10	エンジン	2008/10/30 16:07:47	

F1 データ解析	F2 削除	F3 バックアップ	F4 リストア	2008/11/10 09:25:50

[フリーズフレーム項目]

フリーズフレーム項目			
No	システム	ファイル作成日時	区分
1	エンジン	2008/11/05 12:00:45	
2	エンジン	2008/11/05 09:32:12	
3	エンジン	2008/11/04 15:45:47	
4	エンジン	2008/11/04 11:29:34	
5	エンジン	2008/11/04 11:18:15	
6	エンジン	2008/11/04 11:17:03	
7	エンジン	2008/11/04 11:15:55	

F1 データ解析	F2 削除	F3 バックアップ	F4 リストア	2008/11/10 09:25:55

<操作方法>

<table>
<tr><td>↑/↓</td><td colspan="2">カーソルの移動を行ないます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">YES</td><td>データモニタ項目</td><td>カーソル上の保存データを読込み、「3.11.2.ホールドモード」へ移行します。
但し、保存データ表示時は「保存」「トリガ」「スタート」機能が実行できません。</td></tr>
<tr><td>DTC項目</td><td>カーソル上の保存データを読込み、「3.9.1.ダイアグコードの点検」へ移行します。
但し、保存データ表示時は「DTCクリア」「フリーズフレームデータ表示」「保存」機能が実行できません。</td></tr>
<tr><td>フリーズフレーム項目</td><td>カーソル上の保存データを読込み、「3.9.3.フリーズフレームデータ表示」へ移行します。
但し、保存データ表示時は「保存」機能が実行できません。</td></tr>
<tr><td>C</td><td colspan="2">保存データの選択を中止し前の画面に戻ります。</td></tr>
<tr><td>S</td><td colspan="2">カーソル上のデータを選択/非選択状態にします。</td></tr>
<tr><td>F1</td><td colspan="2">データ解析対象選択画面を表示します。
「カーソル上のデータ」
「すべてのデータ」
「選択されたデータ」 ※Sキーで選択されたデータがある場合のみ表示されます。
選択された項目に該当するデータをパソコン側アプリケーション「PCデータセーバー」に解析用データとして転送します。</td></tr>
<tr><td>F2</td><td colspan="2">カーソル上のデータを削除します。
※ 削除中は絶対に電源を切らないでください。保存データエリアが破壊され、他の保存データが表示できなくなることがあります。</td></tr>
<tr><td>F3</td><td colspan="2">バックアップ対象選択画面を表示します。
「カーソル上のデータ」
「すべてのデータ」
「選択されたデータ」 ※Sキーで選択されたデータがある場合のみ表示されます。
選択された項目に該当するデータをパソコン側アプリケーション「PCデータセーバー」にバックアップします。</td></tr>
<tr><td>F4</td><td colspan="2">パソコン側アプリケーション「PCデータセーバー」でリストア対象に指定したデータをリストアします。</td></tr>
</table>

3.17. 画面保存データの表示

画面保存によって保存された画面のハードコピーデータを再度表示する場合に実行します。
※日付の新しい画面保存データから順に上から表示されます。

No	システム	ファイル作成日時
1	エンジン	2008/11/10 16:47:03
2	ABS	2008/11/10 16:46:10
3	AT	2008/11/10 09:20:40
4	エンジン	2008/11/10 09:10:33
5	エンジン	2008/11/10 09:01:26
6	エンジン	2008/11/05 12:00:17

F1	F2 削除	F3 ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ	F4 ﾘｽﾄｱ	2008/11/10 17:34:32

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	カーソル上の画面保存データを再表示します。 再表示後YESを押すと、この画面に戻ります。
C	保存データの選択を中止し前の画面に戻ります。
S	カーソル上のデータを選択/非選択状態にします。
F2	カーソル上のデータを削除します。 ※ 削除中は絶対に電源を切らないでください。保存データエリアが破壊され、他の保存データが表示できなくなることがあります。
F3	バックアップ対象選択画面を表示します。 「カーソル上のデータ」 「すべてのデータ」 「選択されたデータ」 ※Sキーで選択されたデータがある場合のみ表示されます。 選択された項目に該当するデータをパソコン側アプリケーション「PCデータセーバー」にバックアップします。
F4	パソコン側アプリケーション「PCデータセーバー」でリストア対象に指定したデータをリストアします。

4. アクティブテスト項目一覧

本アプリケーションがサポートしているアクティブテスト項目の一覧を以下に示します。テスト内容詳細は、アクティブテストメニューのテスト内容説明ならびに対象車両の整備マニュアルをご参照ください。

① エンジン

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	イニシャル点火時期固定		

② ABS(VSP,ESP)

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
1	減圧動作点検	3	センサー括校正
2	増圧動作点検	4	整備モード

③ ボディ

No.	アクティブテスト項目	No.	アクティブテスト項目
ライト系			
1	ライト駆動	4	Fフォグランプリレー駆動
2	ルームランプ駆動	5	スモールランプリレー駆動
3	ハザード駆動	6	ヘッドランプリレー駆動
ドア系			
1	ドアロック駆動	3	バックドア(トランク)オープン駆動
2	ドアオープン駆動		
その他			
1	デアイサ駆動	5	警告ブザー駆動
2	リヤデフォッガ駆動	6	シートベルト未装着警告灯駆動
3	ホーン駆動	7	インジケータ駆動
4	リヤワイパ駆動	8	アラームインジケータ駆動

5. アナログ-ECU同時計測

本アプリケーションは、診断機本体に拡張計測ボードを装着することにより、電圧計測データ(アナログデータ) と車両データ(ECUデータ) を同時表示することができます。(アナログ-ECU同時計測)

アナログ-ECU同時計測について以下に示します。

5.1. 対応機能

アナログ-ECU同時計測で対応する機能を以下に示します。

<アナログ-ECU同時計測対応機能>

診断機能	参照項
車両故障診断メニュー	5.3.1
計測設定	5.3.2
現在のデータ表示/保存	5.3.3
アクティブテスト	5.3.3
保存データの再表示	5.3.3

※ 上記以外の機能についてはアナログ-ECU同時計測の対応はありません。

5.2. 接続

(1) 診断機本体に拡張計測ボードが装着されていない場合は、診断機の電源がOFFであることを確認し、装着してください。

拡張計測ボード 形式 :Measure KIT

品名コード :51400391

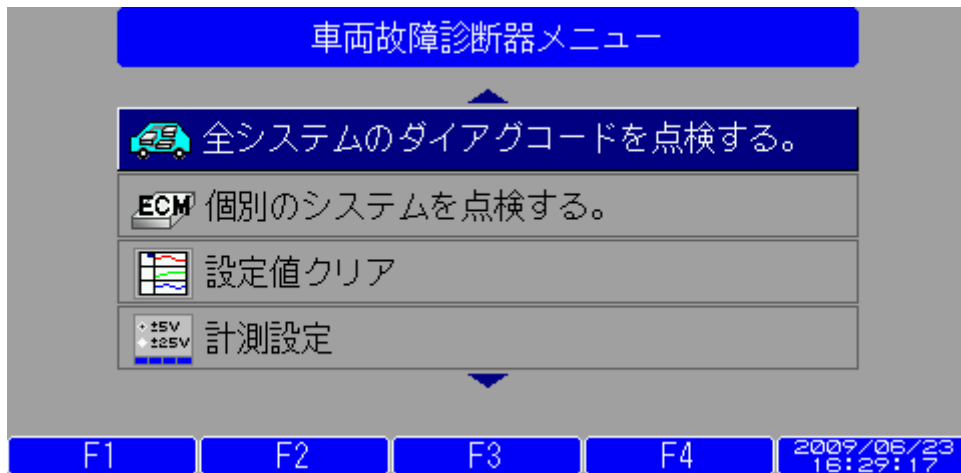
(2) 計測用プローブ、プローブボックス、診断機を接続してください。

(3) 診断機の電源をONにします。

5.3. 操作

5.3.1. 車両故障診断メニュー

診断機本体に拡張計測ボードが装着されている場合のみ「計測設定」メニューを表示します。
車両故障診断メニューの操作方法につきましては「3.2.車両故障診断メニュー」をご参照ください。

車両故障診断器メニュー
全システムのダイアグコードを点検する。
個別のシステムを点検する。
設定値クリア
計測設定
F1 F2 F3 F4 2009/06/23 16:29:17

「計測設定」メニューをYESで選択すると、「5.3.2.計測設定」を実行します。

5.3.2. 計測設定

計測設定では、同時計測あり/なし、アナログハードレンジ(拡張計測ボードの電圧計測レンジ)、サンプリング周期の設定を行ないます。

計測設定
同時計測 なし あり
ＣＨ１ レンジ ±５Ｖ ±２５Ｖ
ＣＨ２ レンジ ±５Ｖ ±２５Ｖ
ＣＨ３ レンジ ±５Ｖ ±２５Ｖ
ＣＨ４ レンジ ±５Ｖ ±２５Ｖ
サンプリング周期 50 ms
項目移動：UP/DOWNキー、 選択：LEFT/RIGHTキー
更新：YESキー、キャンセル：Cキー
F1 F2 F3 F4 2008/02/14 19:20:35

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
←/→	設定の変更を行ないます。
YES	設定を確定し、「5.3.1.車両故障診断メニュー」に戻ります。
C	設定を中止し、「5.3.1.車両故障診断メニュー」に戻ります。

<計測設定値>

同時計測	なし	アナログ-ECU同時計測を行ないません。
	あり	アナログ-ECU同時計測を行ないます。
CH1 レンジ	チャンネル1のアナログハードレンジを±5Vまたは±25Vで設定します。	
CH2 レンジ	チャンネル2のアナログハードレンジを±5Vまたは±25Vで設定します。	
CH3 レンジ	チャンネル3のアナログハードレンジを±5Vまたは±25Vで設定します。	
CH4 レンジ	チャンネル4のアナログハードレンジを±5Vまたは±25Vで設定します。	
サンプリング周期	アナログ計測のサンプリング周期を50～100ミリ秒(10ミリ秒きざみ)で設定します。	

※ 「CH1 レンジ」～「サンプリング周期」は同時計測ありの場合のみ設定できます。

5.3.3. 同時計測表示例

同時計測ありの場合、データ表示において項目の先頭にアナログデータを表示します。
アナログデータは「CH1」、「CH2」、「CH3」、「CH4」で表示します。
以下に同時計測の数値データ表示、グラフ1表示およびグラフ2表示の例を示します。
現在のデータ表示/保存、アクティブテスト、保存データの表示において同様の画面を表示します。
操作方法につきましては同時計測なしの場合と同じです。

数値データ表示

項目	値	最小	平均	最大
CH1	-0.020 V	-0.020	-0.013	0.000
CH2	-0.050 V	-0.100	-0.045	0.000
CH3	-0.020 V	-0.030	-0.018	-0.010
CH4	-1.707 V	-5.070	0.186	5.019
負荷	0.0 %	0.0	0.0	0.0
ｴﾝｼﾞﾝ水温	79 °C	79	79	79
吸入管絶対圧力	20 KPa	20	20	20
ｴﾝｼﾞﾝ回転数	960 rpm	960	960	960
車速	0 km/h	0	0	0
ｽﾛｯﾄﾙ開度	14 %	14	14	14

TIME 0:00:19
F1 保存 F2 選択 F3 グラフ F4 ホールド 2009/02/16 09:44:07

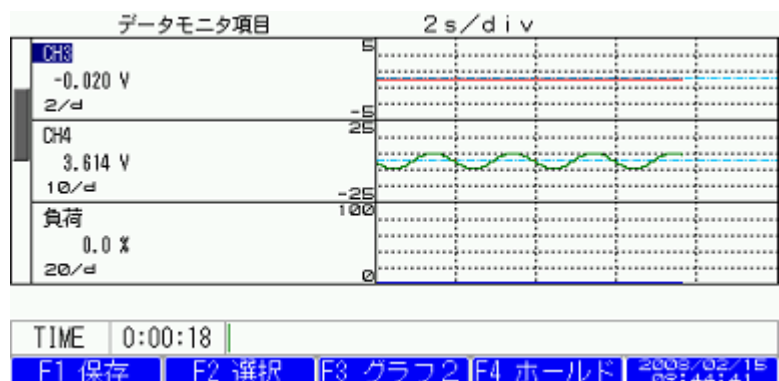
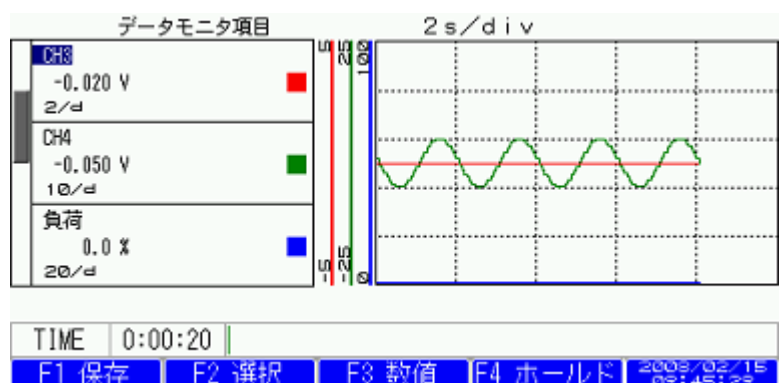
アナログデータ

グラフ1表示

データモニタ項目 2s/div
CH3 -0.020 V 2/d
CH4 3.614 V 10/d
負荷 0.0 % 20/d
TIME 0:00:18
F1 保存 F2 選択 F3 グラフ2 F4 ホールド 2009/02/16 09:44:41

アナログデータ

グラフ2表示

データモニタ項目 2s/div
CH3 -0.020 V 2/d
CH4 -0.050 V 10/d
負荷 0.0 % 20/d
TIME 0:00:20
F1 保存 F2 選択 F3 数値 F4 ホールド 2009/02/16 09:45:29

アナログデータ

「トリガ設定」ではアナログデータをトリガ設定できます。アナログデータは「CH1」、「CH2」、「CH3」、「CH4」で表示します。

【注意】
データ表示において非測定チャンネルに信号が表示されることがありますが故障ではありません。
非測定チャンネルにも信号を入力すると正確に表示されます。

6.　排気ガス-ECU同時計測

本アプリケーションは、診断機本体と排気ガス測定器(株式会社堀場製作所製　排気ガス測定器　MEXA-584L)を、RS232Cカードを介して接続することにより、排気ガス測定器の計測データ(通信データ)　と車両データ(ECUデータ)を同時表示することができます。(排気ガス-ECU同時計測)

排気ガス-ECU同時計測について以下に示します。

6.1.　対応機能

排気ガス-ECU同時計測で対応する機能を以下に示します。

<排気ガス-ECU同時計測対応機能>

診断機能	参照項
車両故障診断メニュー	6.3.1
計測設定	6.3.2
現在のデータ表示/保存	6.3.3
アクティブテスト	6.3.3
保存データの再表示	6.3.3

※　上記以外の機能については排気ガス-ECU同時計測の対応はありません。

6.2.　接続

(1)　排気ガス測定器が対象排気ガス測定器(下記「サポート機器」参照)であることを確認してください。
(2)　RS232Cカードが対象RS232Cカード(下記「サポート機器」参照)であることを確認してください。
(3)　診断機の電源がOFFであることを確認し、CFカードを挿入してください。
(4)　診断機の電源がOFFであることを確認し、空いているドライブにRS232Cカードを挿入してください。
(5)　排気ガス測定器の電源がOFFであることを確認し、診断機と排気ガス測定器をRS232Cケーブルで接続してください。(排気ガス測定器側の接続方法は排気ガス測定器の取扱説明書に従ってください)
(6)　排気ガス測定器の電源をONにします。
(7)　診断機の電源をONにします。

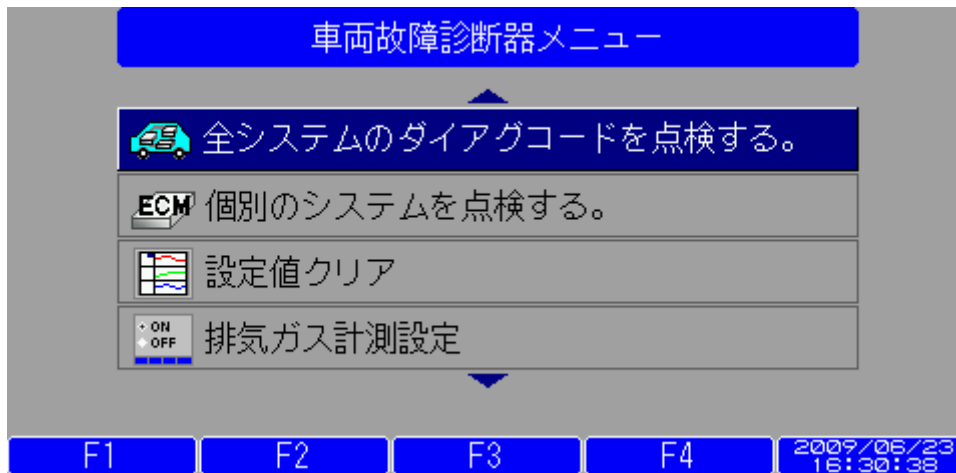
※排気ガス-ECU同時計測を行う場合は、故障診断機のファームウェアのバージョンを1.7.6以上にアップデートしてください。

＜サポート機器＞

(1)　排気ガス測定器
　　株式会社堀場製作所製　排ガス測定器　MEXA-584L
(2) RS232Cカード
　　キット同梱のRS232Cカード

6.3. 操作

6.3.1. 車両故障診断メニュー

診断機本体にRS232Cカードが挿入されている場合のみ「排気ガス計測設定」を表示します。
車両故障診断メニューの操作方法につきましては「3.2.車両故障診断メニュー」をご参照ください。

「排気ガス計測設定」をYESで選択すると、「6.3.2.排気ガス計測設定」を実行します。

※拡張計測ボードを装着している場合は、アナログ計測の「計測設定」メニューの下に、「排気ガス計測設定」を表示します。

6.3.2.　排気ガス計測設定

排気ガス計測設定では、排気ガス同時計測あり/なしの設定を行ないます。

排気ガス計測設定
同時計測　なし　あり
選択：LEFT/RIGHTキー
更新：YESキー、キャンセル：Cキー
F1　F2　F3　F4　2009/03/18 16:43:03

<操作方法>

←/→	設定の変更を行ないます。
YES	設定を確定し、「6.3.1.車両故障診断メニュー」に戻ります。
C	設定を中止し、「6.3.1.車両故障診断メニュー」に戻ります。

<計測設定値>

同時計測	なし	排気ガス-ECU同時計測を行ないません。
	あり	排気ガス-ECU同時計測を行ないます。

6.3.3. 排気ガス同時計測表示例

排気ガス同時計測ありの場合、データ表示において項目の先頭に排気ガスデータを表示します。
以下に排気ガス同時計測の数値データ表示、グラフ1表示およびグラフ2表示の例を示します。
現在のデータ表示/保存、アクティブテスト、保存データの表示において同様の画面を表示します。
操作方法につきましては排気ガス同時計測なしの場合と同じです。

※アナログ同時計測ありの場合は、アナログ計測表示の下に排気ガス計測データを表示します。

数値データ表示

項目	値	最小	平均	最大
O2	0.10 %	0.10	0.10	0.10
CO	0.05 %	0.05	0.05	0.05
CO2	15.30 %	15.30	15.30	15.30
HC	50 ppm	50	50	50
NO	360 ppm	360	360	360
A/F	14.7	14.7	14.7	14.7
λ(LAMBDA)	1.000	1.000	1.000	1.000
空燃比ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ制御	ｸﾛｰｽﾞ	-	-	-
水温	52 °C	-40	44	54
空燃比補正率	-9.38 %	-100.00	-4.69	11.72

TIME 0:12:06

F1 保存 F2 選択 F3 グラフ F4 ホールド 2009/03/30 22:23:20

排気ガスデータ

グラフ1表示

データモニタ項目 2s/div

A/F 14.7 4/d 30 10

λ(LAMBDA) 1.000 2/d 10 0

空燃比ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ制御 ｸﾛｰｽﾞ

TIME 0:00:42

F1 保存 F2 選択 F3 グラフ2 F4 ホールド 2009/03/30 22:24:13

排気ガスデータ

グラフ2表示

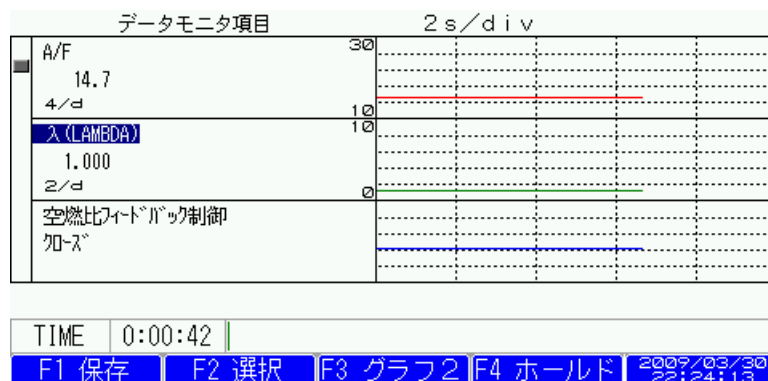
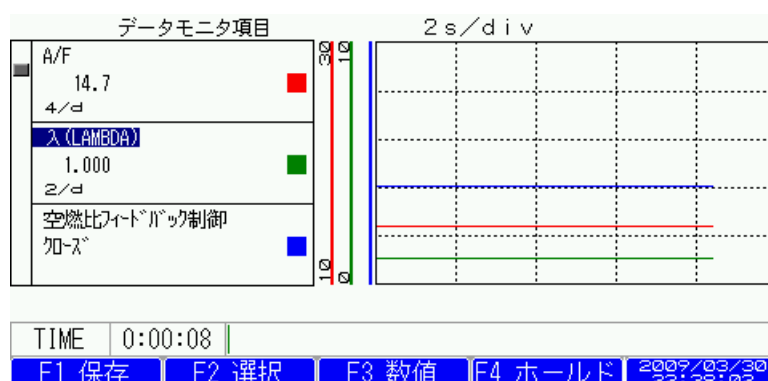
データモニタ項目 2s/div

A/F 14.7 4/d

λ(LAMBDA) 1.000 2/d

空燃比ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ制御 ｸﾛｰｽﾞ

TIME 0:00:08

F1 保存 F2 選択 F3 数値 F4 ホールド 2009/03/30 22:39:02

排気ガスデータ

「トリガ設定」では排気ガスデータをトリガ設定できます。
排気ガスデータは「O2」、「CO」、「CO2」、「HC」、「NO」、「A/F」、「λ(LAMBDA)」で表示します。

7.　システム別識別コード-車両型式一覧

【軽自動車EPIシステム】

識別コード	車種	車両型式	適用時期	通信
33920－76G0	アルト	HA12S	98.10～00.12	KWP
33920－76G1		HA12V	99.10～00.12	KWP
33920－78G3	ジムニー	JB23W	98.10～99.10	KWP
	アルト	HA22S	98.10～00.12	KWP
	Kei	HN21S	98.10～01.04	KWP
33920－78G4	アルト	HA22S	98.10～00.12	KWP
	Kei	HN21S	98.10～99.10（2WD車）	KWP
			98.10～01.04（4WD車）	KWP
33920－76G5	アルト	HA22S	98.10～01.04	KWP
33920－78G7			98.10～99.10	KWP
33920－76F0	ワゴンR	MC11S	98.10～99.10	KWP
	エブリイ	DA52V	99.01～01.09	KWP
		DB52V		
33920－76F1	キャリイ	DA52T		
		DB52T		
33920－76G3	アルト	HA22S	98.10～99.10	KWP
	Kei	HN21S	98.10～99.03	KWP
33920－76G4	ワゴンR	MC21S	98.10～99.10	KWP
33920－76FK	ワゴンR	MC21S	98.10～00.12	KWP
	アルト	HA22S	99.10～00.12	KWP
	Kei	HN21S	00.10～01.04	KWP
33920－78G0	アルト	HA12S	98.10～00.12	KWP
	Kei	HN11S	98.10～01.04	KWP
	ワゴンR	MC11S	98.10～00.12	KWP
	エブリイ	DA52V	99.01～01.09	KWP
		DB52V		
	キャリイ	DA52T		
		DB52T		
	エブリイワゴン	DA52W	99.06～01.09	KWP
33920－78G2	アルト	HA12S	98.10～00.12	KWP
	Kei	HN11S	98.10～99.10	KWP
	ワゴンR	MC11S	98.10～00.12	KWP
	エブリイ	DA52V	99.01～01.09	KWP
		DB52V		
	キャリイ	DA52T		
		DB52T		
	エブリイワゴン	DA52W	99.06～01.09	KWP
33920－76FD	ワゴンR	MC21S	98.10～00.12	KWP
33920－76FF			98.10～99.10	KWP
33920－76FL	ワゴンR	MC21S	99.04～00.12	KWP
	アルト	HA22S	99.10～00.12	KWP
33920－74GA	Kei	HN21S	99.10～01.04（2WD車）	KWP
33920－81AG	ジムニー	JB23W	99.10～02.01	KWP
33920－74G8	アルト	HA12S	99.10～00.12	KWP
	Kei	HN11S	99.10～01.04	KWP
	ワゴンR	MC11S	99.10～00.12	KWP
33920－77F7	ワゴンR	MC21S	99.10～00.12	KWP
33920－77F6	ワゴンR	MC21S	99.10～00.12	KWP
33920－84D1	ワゴンR	MC11S改	99.07～01.03	KWP

【軽自動車EPIシステム続き】

識別コード	車種	車両型式	適用時期	通信
33920－84D2	エブリイ	DA52V改	99.12～01.11	KWP
33920－74GH	Kei	HN21S	00.10～01.04	KWP
33920－84F0	ワゴンR	MC12S	00.12～01.11	KWP
	Kei	HN12S	01.04～01.11	KWP
33920－84F1	ワゴンR	MC12S	00.12～01.11	KWP
	Kei	HN12S	01.04～01.11	KWP
33920－84GF	アルト	HA23S	00.12～04.12	KWP
33920－84GG		HA23V	00.12～03.08	KWP
33920－84F6	ワゴンR	MC22S	00.12～01.11	KWP
	Kei	HN22S	01.04～01.11	KWP
33920－84G5	アルト	HA23S	00.12～02.04	KWP
	ワゴンR	MC22S	00.12～01.11	KWP
	Kei	HN22S	01.04～01.11	KWP
33920－84F3	ワゴンR	MC22S	00.12～01.11	KWP
	Kei	HN22S	01.04～01.11	KWP
33920－84F4	ワゴンR	MC22S	00.12～01.11（4WD車）	KWP
	Kei	HN22S	01.04～01.11（4WD車）	KWP
33920－84FA	ワゴンR	MC22S	00.12～01.11（2WD車）	KWP
	Kei	HN22S	01.04～01.11（2WD車）	KWP
33920－84D4	ワゴンR	MC22S改	01.03～03.06	KWP
33920－84GD	アルト	HA23S	01.04～04.07	KWP
33920－65H0	エブリイ	DA62V	01.09～05.07	KWP
	キャリイ	DA62T	01.09～02.04	KWP
		DA63T	02.05～	KWP
		DA65T	05.11～	KWP
	エブリイワゴン	DA62W	01.09～03.08	KWP
33920－65H1	エブリイ	DA62V	01.09～03.08	KWP
	キャリイ	DA62T	01.09～02.04	KWP
		DA63T	02.05～05.07	KWP
	エブリイワゴン	DA62W	01.09～03.08	KWP
33920－66H6	エブリイ	DA62V	01.09～05.07（MT車）	KWP
			01.09～03.06（AT車）	KWP
	エブリイワゴン	DA62W	01.09～05.07（MT車）	KWP
			01.09～03.06（AT車）	KWP
	キャリイ	DA62T	01.09～02.05	KWP
33920－84FB	ワゴンR	MC22S	01.11～03.09（4WD車）	KWP
			01.11～02.09（2WD車）	KWP
	Kei	HN22S	01.11～02.11	KWP
33920－84FC	ワゴンR	MC22S	01.11～03.06（4WD車）	KWP
			01.11～02.04（2WD車）	KWP
	Kei	HN22S	01.11～02.04	KWP
	MRワゴン	MF21S	01.12～03.06（4WD車）	KWP
			01.12～02.04（2WD車）	KWP
	ラパン	HE21S	02.01～03.06（4WD車）	KWP
			02.01～02.04（2WD車）	KWP
33920－84FE	Kei	HN22S	01.11～	KWP
33920－84FH	Kei	HN22S	01.11～	KWP
	ラパン	HE21S	03.09～	KWP
33920－84FF	ワゴンR	MC22S	01.11～03.05	KWP
	Kei	HN22S		
	MRワゴン	MF21S	01.12～03.05	KWP
	ラパン	HE21S	02.10～03.05	KWP

【軽自動車EPIシステム続き】

識別コード	車種	車両型式	適用時期	通信
33920－84FK	ワゴンR	MC22S	01.11～03.05	KWP
	Kei	HN22S		
	MRワゴン	MF21S	02.06～03.05	KWP
33920－84FJ	ワゴンR	MC22S	01.11～03.05	KWP
	Kei	HN22S		
	MRワゴン	MF21S	02.06～03.05	KWP
33920－84DE	エブリイ	DA62V改	01.11～	KWP
33920－84DF			01.11～03. 09	KWP
33920－81A8	ジムニー	JB23W	02.01～(MT車)	KWP
			02.01～03.08(AT車)	KWP
33920－84FR	アルト	HA23S	02.04～03.08（2WD車）	KWP
		HA23V		
	ワゴンR	MC22S	02.04～03.06（2WD車）	KWP
	Kei	HN22S		
	MRワゴン	MF21S		
	ラパン	HE21S		
33920－84FQ	ワゴンR	MC22S	02.09～03.09（2WD車）	KWP
	Kei	HN22S	02.11～（2WD車）	KWP
	アルト	HA23S	02.12～（2WD車）	KWP
		HA23V		
33920－80H3	TWIN	EC22S	03.01～05.09	KWP
	エブリイ	DA62V	03.09～05.07	KWP
33920－80H2	TWIN	EC22S	03.01～03.06	KWP
33920－16G0	TWIN	EC22S改	03.01～03.12	KWP
33920－66HM	エブリイ	DA62V	03.06～03.09（AT車）	KWP
	エブリイワゴン	DA62W		
33920－83HD	ワゴンR	MC22S	03.05～03.09	KWP
	Kei	HN22S	03.05～	KWP
	MRワゴン	MF21S	03.05～05.12	KWP
	ラパン	HE21S	03.05～	KWP
	ワゴンR	MC22S	03.05～05.08	KWP
	Kei	HN22S	03.05～	KWP
	MRワゴン	MF21S	03.05～05.12	KWP
	ラパン	HE21S	03.09～	KWP
33920－83HF	ワゴンR	MC22S	03.05～05.08	KWP
	Kei	HN22S	03.05～	KWP
	MRワゴン	MF21S	03.05～05.12	KWP
	ラパン	HE21S	03.09～	KWP
33920－83HB	ワゴンR	MC22S	03.06～03.09（4WD車）	KWP
	MRワゴン	MF21S	03.06～05.12（4WD車）	KWP
	ラパン	HE21S	03.06～05.11（4WD車）	KWP
33920－83HA	アルト	HA23S,	03.09～04.03（2WD車）	KWP
		HA23V		
	ワゴンR	MC22S	03.06～03.09（2WD車）	KWP
	Kei	HN22S	03.06～（2WD車）	KWP
	MRワゴン	MF21S	03.06～05.12（2WD車）	KWP
	ラパン	HE21S	03.06～05.11（2WD車）	KWP
33920－84D6	ワゴンR	MC22S改	03.06～03.08	KWP
33920－80H4	TWIN	EC22S	03.06～	KWP
33920－71J1	エブリイ	DA62V	03.08～05.07	KWP
	エブリイワゴン	DA62W		

【軽自動車EPIシステム続き】

識別コード	車種	車両型式	適用時期	通信
33920－86B4	アルト	HA23S	03.09～04.08	KWP
		HA23V	03.09～04.12	KWP
33920－81AB	ジムニー	JB23W	03.08～（AT車）	KWP
33920－84DG	エブリイ	DA62V改	03.09～	KWP
33920－71J7	エブリイ	DA62V	03.09～05.07	KWP
33920－71JB	エブリイ	DA62V	03.09～05.07	KWP
	エブリイワゴン	DA62W		
33920－58J0	ワゴンR	MH21S	03.10～04.11	KWP
33920－58J1				
33920－58J2				
33920－58J7				
33920－58J3			03.10～05.08	KWP
33920－58J5				
33920－80HB	TWIN	EC22S	04.01～05.01	KWP
33920－86BA	アルト	HA23S	04.04～04.08	KWP
		HA23V	04.04～04.12	KWP
33920－84DH	ワゴンR	MH21S改	04.04～04.12	KWP
33920－72J0	アルト	HA24S	04.09～05.11	KWP
33920－72J1		HA24V	05.01～05.11	KWP
33920－72J3	アルト	HA24S	04.09～05.11	KWP
33920－58JF	ワゴンR	MH21S	04.12～05.08	KWP
33920－58JG				
33920－58JH				
33920－58JJ				
33920－58JP				
33920－84DJ	ワゴンR	MH21S改	05.01～05.10	KWP
33920－68H0	エブリイ	DA64V	05.08～	KWP
33920－68H1	エブリイワゴン	DA64W		
33920－68H4				
33921－68H4				
33920－68H6				
33921－68H6				
33920－68H5				
33921－68H5				
33920－68H7				
33921－68H7				
33920－67HK	キャリイ	DA63T	05.08～	KWP
33920－65K3	ワゴンR	MH21S	05.09～	KWP
	MRワゴン	MF22S	06.01～	KWP
33920－65K9	ワゴンR	MH21S	05.09～06.08	KWP
33920－65KA				
33920－65K2	ワゴンR	MH21S	05.09～	KWP
	MRワゴン	MF22S	06.01～	KWP
33920－65K5	ワゴンR	MH21S	05.09～	KWP
33920－84DK	ワゴンR	MH21S改	05.11～	KWP
33920－72JF	アルト	HA24S	05.12～06.04	KWP
33920－72JG		HA24V		
33920－72JJ				
33920－75HA	ラパン	HE21S	‘05.12～	KWP
33920－75HB				

【軽自動車EPIシステム続き】

識別コード	車種	車両型式	適用時期	通信
33921－72JF	アルト	HA24S	06.04～	KWP
33921－72JG		HA24V		
33921－72JJ				
33920－65K0	ワゴンR	MH21S	06.09～	KWP
33920－58JU				
33920－66K0	セルボ	HG21S	06.11～	KWP
33920－66K4				
33920－66K2				
33980－66K6	セルボ	HG21S	07.10～	CAN
33980－82K0	パレット	MK21S	08.01～	CAN
	ワゴンR	HG23S	08.09～	CAN
33980－82K1	パレット	MK21S	08.01～	CAN
33980－82K4	パレット	MK21S	08.01～	CAN
33980－66K9	セルボ	HG21S	08.05～	CAN
33980－66KA	セルボ	HG21S	08.05～	CAN
33980－61L0	ジムニー	JB23W	08.06～	CAN
33980－61L1				
33980－70KE	ワゴンR	MH23S	08.09～	CAN
33980－85K6	ワゴンR	MH23S	08.09～	CAN
	ラパン	HE22S	08.11～	CAN
33980－85K8	ワゴンR	MH23S	08.09～	CAN
	ラパン	HE22S	08.11～	CAN
33980－85K2	ラパン	HE22S	08.11～	CAN
33980－66KG	セルボ	HG21S	09.05～	CAN
33980－81JG	MRワゴン	MF22S	09.06～	CAN
33980－82KM	パレット	MK21S	09.09～	CAN
33980－82KH	パレット	MK21S	09.09～	CAN
33980－82KK	パレット	MK21S	09.09～	CAN
33980－64L5	アルト	HA25S	09.12～	CAN
33980－64L9	アルト	HA25S	09.12～	CAN
33980－64LA	アルト	HA25S/HA25V	09.12～	CAN
33980－64LD	アルト	HA25S/HA25V	09.12～	CAN

【小型・普通車EPIシステム】

識別コード	車種	車両型式	適用時期	通信
33920－78F0	ワゴンR^{+}（プラス）	MA63S	99.05～00.11	KWP
33920－78F4				
33920－76A0	エブリイ$^{+}$（プラス）	DA32W	99.06～01.05	KWP
33920－80G0	スイフト	HT51S	00.01～03.06	KWP
			00.01～（4WD AT車）	KWP
	ワゴンRソリオ	MA34S	00.11～03.08	KWP
			00.11～(4WD車)	KWP
33920－82D0	エスクード	TA02W	00.04～00.12	KWP
		TA52W	00.12～02.11	KWP
		TL52W	00.04～05.04	KWP
33920－67D0	エスクード	TD62W	00.04～03.05	KWP
33920－81AJ	ジムニーワイド	JB43W	00.04～01.12	KWP
	ジムニーシエラ		02.01～	KWP
33920－78FC	ワゴンRソリオ	MA64S	00.11～02.10	KWP
33920－52D4	グランドエスクード	TX92W	00.12～03.05	KWP
33920－54G8	エリオ	RB21S	01.01～(4WD AT車)	KWP
			01.01～03.10	KWP
		RA21S	01.11～(4WD AT車)	KWP
			01.11～03.10	KWP
		RC51S	03.01～	KWP
		RD51S		
33920－64H0	エブリイランディ	DA32W	01.05～05.06	KWP
33920－70H0	シボレークルーズ	HR51S	01.11～03.10	KWP
		HR52S	03.11～(4WD車)	KWP
33920－70H1	スイフト	HT81S	03.06～05.03	KWP
	シボレークルーズ	HR81S	02.12～03.10	KWP
		HR82S	03.11～(4WD車)	KWP
			03.11～(2WD車)	KWP
	エリオ	RA21S	03.11～(4WD AT車除く)	KWP
		RB21S		
33920－54JG	グランドエスクード	TX92W	03.06～05.05	KWP
33920－55J2	スイフト	HT51S	03.06～（4WD AT車除く）	KWP
	ワゴンRソリオ	MA34S	03.08～（4WD AT車除く）	KWP
	シボレークルーズ	HR52S	03.11～(2WD車のみ)	KWP
33920－63J0	スイフト	ZC11S	04.11～07.04	KWP
		ZD11S		
		ZC21S	04.11～07.04	KWP
		ZD21S		
33920－65J5	エスクード	TD54W	05.05～	KWP
33920－66J4		TD94W	05.06～	KWP
33920－57K0	スイフトスポーツ	ZC31S	05.09～07.04	KWP
33920－64JG	エスクード	TA74W	06.06～	KWP
33920－73K0	スイフト	ZC11S	07.05～	KWP
		ZD11S		
		ZC21S	07.05～	KWP
		ZD21S		
33920－57K4	スイフトスポーツ	ZC31S	05.09～	KWP
33920－80J0	SX4	YA11S、YB11S	06.07～	CAN
33920－80J4	SX4	YA41S、YB41S	06.07～	CAN
33980－73KU	スイフト	ZC71S	07.05～	CAN
33980－78K8	エスクード	TDA4W	08.06～	CAN
33920－51K3	スプラッシュ	XB32S	08.10～	CAN

【小型・普通車EPIシステム続き】

識別コード	車種	車両型式	適用時期	通信
33980－54L0	SX4	YA11S、YB11S	09.05～	CAN
		YC11S		
33980－57L0	キザシ	RE91S, RF91S	09.10～	CAN

【AT・CVTシステム】

識別コード	車種	車両型式	適用時期	通信
38880－81A2	ジムニー	JB23W	98.10～04.09	KWP
	エブリイ	DA52V	99.11～01.09	KWP
		DB52V		
		DA62V	01.09～03.09	KWP
	エブリイワゴン	DA52W	99.11～01.09	KWP
		DA62W	01.09～03.09	KWP
38880－76F1	アルト	HA22S（2WD車のみ）	99.10～00.12	KWP
	ワゴンR	MC21S	98.10～99.10	KWP
	Kei	HN11S	99.03～99.10	KWP
	ワゴンR+（プラス）	MA63S	99.05～00.11	KWP
38880－76G0	アルト	HA12V	98.10～99.10	KWP
38880－76G2	ワゴンR	MC21S	98.10～01.06	KWP
	アルト	HA22S	99.05～01.04	KWP
		HA23S	01.04～01.06	KWP
38880－76A0	エブリイ+（プラス）	DA32W	99.06～01.05	KWP
	エブリイランディ	DA32W	01.05～05.06	KWP
38880－83E0	スイフト	HT51S	00.01～01.04	KWP
38880－65D0	エスクード	TA02W	00.04～00.12	KWP
		TA52W	00.12～02.11	KWP
		TL52W	00.04～05.04	KWP
38880－81A4	ジムニーワイド	JB43W	00.04～01.12	KWP
	ジムニーシエラ		02.01～	KWP
38880－78FA	ワゴンRソリオ	MA64S	00.11～02.10	KWP
38880－78FJ	ワゴンRソリオ	MA34S	00.11～	KWP
	スイフト	HT51S	01.04～	KWP
	シボレークルーズ	HR51S	01.11～03.10	KWP
		HR52S	03.11～	KWP
		HR81S	02.12～03.10	KWP
		HR82S	03.11～	KWP
	エリオ	RA21S	01.11～	KWP
		RB21S		
38880－54G1	エリオ	RB21S	01.01～01.11	KWP
		RC51S	03.01～03.10	KWP
		RD51S		
38880－54J1	グランドエスクード	TX92W	03.06～05.05	KWP
38880－71J0	エブリイ	DA62V	03.09～05.07	KWP
	エブリイワゴン	DA62W		
38880－54G2	エリオ	RC51S	03.11～	KWP
		RD51S		
38880－63J0	スイフト	ZC11S	04.11～	KWP
		ZD11S		
		ZC12S		
		ZD12S		
	スイフトスポーツ	ZC31S	05.09～	KWP
38880－76J0	ジムニー	JIB23W	04.10～	KWP
38880－76JE	ジムニーシエラ	JB43W	04.10～	KWP
38880－65J0	エスクード	TD54W	05.05～08.06	KWP
38880－66J0		TD94W	05.06～06.05	KWP
38880－68H0	エブリイ	DA64V	05.08～	KWP
	エブリイワゴン	DA64W		
38880－66J5	エスクード	TD94W	06.06～08.06	KWP
38880－58JA	ワゴンR	MH21S	06.09～	KWP

【AT・CVTシステム続き】

識別コード	車種	車両型式	適用時期	通信
38880−66K0	セルボ	HG21S	07.10〜	KWP
38880−70K0	ワゴンR	MH23S	08.09〜	KWP
	ラパン	HE22S	08.11〜	KWP
38880−70K2	ワゴンR	MH23S	08.09〜	KWP
38880−80J0	SX4	YA11S、YB11S	06.07〜	CAN
38880−80JA	SX4	YA41S、YB41S	06.07〜	CAN
38880−73K0	スイフト	ZC71S	07.05〜	CAN
38880−61L0	ジムニー	JB23W	08.06〜	CAN
38880−78K0	エスクード	TDA4W	08.06〜	CAN
38880−79K0	エスクード	TDB4W	08.06〜	CAN
38880−51KA	スプラッシュ	XB32S	08.10〜	CAN
38880−82K0	パレット	MK21S	09.09〜	CAN
	アルト	HA25S	09.12〜	
38880−54LA	キザシ	RE91S, RF91S	09.10〜	CAN

【ABSシステム】

識別コード	車種	車両型式	適用時期	通信
56100－76G0	アルト	HA12V	98.10～00.12	KWP
		HA12S	98.10～01.04	KWP
		HA22S		
		HA23V	00.12～03.08	KWP
		HA23S		
	Kei	HN11S	00.10～01.04	KWP
		HN21S		
		HN12S	01.04～03.08	KWP
		HN22S		
56100－74G0	Kei	HN11S	98.10～00.10	KWP
		HN21S		
	ワゴンR^{+}(プラス)	MA63S	99.05～00.11	KWP
	ワゴンRソリオ	MA34S	00.11～	KWP
		MA64S	00.11～02.10	KWP
	スイフト	HT51S	00.01～	KWP
		HT81S	03.06～05.03	KWP
	エリオ	RB21S	01.01～03.10	KWP
		RA21S	01.11～03.10	KWP
		RC51S	03.01～03.10	KWP
		RD51S		
	シボレークルーズ	HR51S	01.11～03.10	KWP
		HR81S	02.12～03.10	KWP
33940－81A2	ジムニー	JB23W	98.10～00.04	KWP
56100－76F0	ワゴンR	MC11S	98.10～00.12	KWP
		MC21S		
		MC12S	00.12～03.09	KWP
		MC22S		
	MRワゴン	MF21S	01.12～04.01	KWP
	ラパン	HE21S	02.01～03.09	KWP
	TWIN	EC22S	03.01～	KWP
		EC22S改	03.01～03.12(HEV車)	KWP
56100－78A0	エブリイ	DA52V	99.11～01.09	KWP
		DB52V		
		DA62V	01.09～05.07	KWP
	エブリイワゴン	DA52W	99.11～01.09	KWP
		DA62W	01.09～05.07	KWP
	エブリイ$^{+}$(プラス)	DA32W	99.06～01.05	KWP
	エブリイランディ	DA32W	01.05～05.06	KWP
	エスクード	TA02W	00.04～00.12	KWP
		TA52W	00.12～02.11	KWP
		TL52W	00.04～05.04	KWP
		TD62W	00.04～03.05	KWP
	キャリイ	DA52T	00.05～01.09	KWP
		DB52T		
56100－81A1	ジムニー	JB23W	00.04～	KWP
	ジムニーワイド	JB43W	00.04～01.12	KWP
	ジムニーシエラ		02.01～	KWP
56100－69G0	カルタス	GC21S	00.04～01.10	KWP
		GC21W	00.04～02.07	KWP
		GC41W		
		GD31S	00.04～01.10	KWP
		GD31W	00.04～02.07	KWP

【ABSシステム続き】

<table>
<tr><th>識別コード</th><th>車種</th><th>車両型式</th><th>適用時期</th><th>通信</th></tr>
<tr><td>56100−52D0</td><td>グランドエスクード</td><td>TX92W</td><td>00.12～05.05</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td>33940−74G0</td><td>Kei</td><td>HN22S</td><td>01.04～04.11</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td rowspan="2">56100−58D0</td><td>ワゴンR</td><td>MH21S</td><td>03.10～</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td>MRワゴン</td><td>MF21S</td><td>06.01～</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td rowspan="9">56100−75H0</td><td rowspan="4">アルト</td><td>HA23S</td><td>03.09～04.08</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td>HA23V</td><td>03.09～04.12</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td>HA24S</td><td>04.09～06.11</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td>HA24V</td><td>05.01～06.11</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td>Kei</td><td>HN22S</td><td rowspan="2">03.09～</td><td rowspan="2">KWP</td></tr>
<tr><td>ラパン</td><td>HE21S</td></tr>
<tr><td rowspan="2">MRワゴン</td><td>MF21S</td><td>04.02～05.12</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td>MF22S</td><td>06.01～</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td>TWIN</td><td>EC22S</td><td>04.01～05.01（HEV車）</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td rowspan="10">56110−84E0</td><td rowspan="4">エリオ</td><td>RA21S</td><td rowspan="4">03.11～</td><td rowspan="4">KWP</td></tr>
<tr><td>RB21S</td></tr>
<tr><td>RC51S</td></tr>
<tr><td>RD51S</td></tr>
<tr><td rowspan="2">シボレークルーズ</td><td>HR52S</td><td>03.11～</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td>HR82S</td><td>03.11～</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td rowspan="4">スイフト</td><td>ZC11S</td><td rowspan="4">04.11～</td><td rowspan="4">KWP</td></tr>
<tr><td>ZD11S</td></tr>
<tr><td>ZC21S</td></tr>
<tr><td>ZD21S</td></tr>
<tr><td rowspan="2">56100−64J0</td><td>エスクード</td><td>TD54W</td><td>05.05～</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td>スイフトスポーツ</td><td>ZC31S</td><td>05.09～</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td>56100−65J0</td><td>エスクード</td><td>TD94W</td><td>05.06～</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td rowspan="2">56100−68H0</td><td>エブリイ</td><td>DA64V</td><td rowspan="2">05.08～</td><td rowspan="2">KWP</td></tr>
<tr><td>エブリイワゴン</td><td>DA64W</td></tr>
<tr><td rowspan="3">56110−79J0</td><td rowspan="5">SX4</td><td>YA11S</td><td rowspan="2">06.07～</td><td rowspan="2">KWP</td></tr>
<tr><td>YB11S</td></tr>
<tr><td>YC11S</td><td>07.07～</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td rowspan="2">56110−79JA</td><td>YA41S</td><td rowspan="2">06.07～</td><td rowspan="2">KWP</td></tr>
<tr><td>YB41S</td></tr>
<tr><td rowspan="3">56100−66K0</td><td>セルボ</td><td>HG21S</td><td>06.11～</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td rowspan="2">アルト</td><td>HA24S</td><td rowspan="2">06.12～</td><td rowspan="2">KWP</td></tr>
<tr><td>HA24V</td></tr>
<tr><td>56100−72K0</td><td>スイフトスポーツ</td><td>ZC31S</td><td>07.05～</td><td>KWP</td></tr>
<tr><td rowspan="2">56100−82K0</td><td>パレット</td><td>MK21S</td><td>08.01～</td><td>CAN</td></tr>
<tr><td>ラパン</td><td>HE22S</td><td>08.11～</td><td>CAN</td></tr>
<tr><td rowspan="3">56100−51K0</td><td>エスクード</td><td>TDA4W、TDB4W</td><td>08.06～</td><td>CAN</td></tr>
<tr><td>ワゴンR</td><td>MH23S</td><td>08.09～</td><td>CAN</td></tr>
<tr><td>スプラッシュ</td><td>XB32S</td><td>08.10～</td><td>CAN</td></tr>
<tr><td>56100−78K0</td><td>エスクード</td><td>TDA4W、TDB4W</td><td>08.06～</td><td>CAN</td></tr>
<tr><td>56100−70K2</td><td>ワゴンR</td><td>MH23S</td><td>08.09～</td><td>CAN</td></tr>
<tr><td>56100−70K8</td><td>ワゴンR</td><td>MH23S</td><td>08.09～</td><td>CAN</td></tr>
<tr><td>56100−57L0</td><td>キザシ</td><td>RE91S, RF91S</td><td>09.10～</td><td>CAN</td></tr>
</table>

【エアバッグシステム】

識別コード	車種	車両型式	適用時期	通信
38910－74G0	Kei	HN11S	98.10～01.04	KWP
		HN21S		
		HN12S	01.04～	KWP
		HN22S		
	ジムニー	JB23W	98.10～	KWP
	スイフト	HT51S	00.01～	KWP
		HT81S	03.06～05.03	KWP
	ジムニーワイド	JB43W	00.04～01.12	KWP
	ジムニーシエラ		02.01～	KWP
	エブリイ	DA52V	00.05～01.09	KWP
		DB52V		
		DA62V	01.09～05.07	KWP
	エブリイワゴン	DA52W	00.05～01.09	KWP
		DA62W	01.09～05.07	KWP
	キャリイ	DA52T	00.05～01.09	KWP
		DB52T		
		DA62T	01.09～02.04	KWP
		DA63T	02.05～	KWP
		DA65T	05.11～	KWP
	エブリイランディ	DA32W	01.05～05.06	KWP
	TWIN	EC22S	03.01～	KWP
	エブリイ	DA52V	99.01～00.05	KWP
		DB52V		
	キャリイ	DA52T		
		DB52T		
	エブリイ+(プラス)	DA32W	99.06～01.05	KWP
	エブリイワゴン	DA52W	99.06～00.05	KWP
38910－76G0	アルト	HA12V	98.10～99.10	KWP
			99.10～00.12	KWP
		HA12S	98.10～01.04	KWP
		HA22S		
		HA23S	00.12～04.08	KWP
		HA23V	00.12～04.12	KWP
	ワゴンR	MC11S	98.10～00.12	KWP
		MC21S		
		MC12S	00.12～03.09	KWP
		MC22S		
	MRワゴン	MF21S	01.12～04.12	KWP
	ラパン	HE21S	02.01～04.09	KWP
	ワゴンR+(プラス)	MA63S	99.05～00.11	KWP
	ワゴンRソリオ	MA34S	00.11～	KWP
		MA64S	00.11～02.10	KWP
	グランドエスクード	TX92W	00.12～05.05	KWP
	エスクード	TL52W	02.11～05.04	KWP
		TD62W	02.11～03.05	KWP
	シボレークルーズ	HR51S	01.11～03.10	KWP
		HR52S	03.11～	KWP
		HR81S	02.12～03.10	KWP
		HR82S	03.11～	KWP
38910－54G0	エリオ	RB21S	01.01～03.10	KWP
		RA21S	01.11～03.10	KWP
		RC51S	03.01～03.10	KWP
		RD51S		

【エアバッグシステム続き】

識別コード	車種	車両型式	適用時期	通信
38910－76F1	ワゴンR	MC22S	01.05～03.09	KWP
38910－73H1	MRワゴン	MF21S	01.07～04.01	KWP
38910－58J0	ラパン	HE21S	04.10～	KWP
	MRワゴン	MF21S	04.12～05.12	KWP
	アルト	HA24V	05.01～	KWP
		HA24S	04.09～	KWP
	エブリイ	DA64V	05.08～	KWP
	エブリイワゴン	DA64W		
	ワゴンR	MH21S	03.10～	KWP
	MRワゴン	MF22S	06.01～	KWP
38910－86G0	エリオ	RB21S	03.11～	KWP
		RA21S		
		RC51S		
		RD51S		
38910－59JA	スイフト	ZC11S	04.11～	KWP
		ZD11S		
		ZC21S		
		ZD21S		
	スイフトスポーツ	ZC31S	05.09～	KWP
38910－65J0	エスクード	TD54W	05.05～	KWP
		TD94W	05.06～	KWP
38910－80J0	SX4	YA11S	06.07～	KWP
		YB11S		
		YA41S		
		YB41S		
		YC11S	07.07～	KWP
38910－82K0	パレット	MK21S	08.01～	KWP
	ワゴンR	MH23S	08.09～	KWP
	ラパン	HE22S	08.11～	KWP
	アルト	HA25S	09.12～	KWP
38910－51K0	スプラッシュ	XB32S	08.09～	KWP
38910－57L0	キザシ	RE91S, RF91S	09.10～	CAN

【パワーステアリングシステム】

識別コード	車種	車両型式	適用時期	通信
38720－78F0	ワゴンR+（プラス）	MA63S	99.05～00.11	KWP
38720－76A0	ワゴンRソリオ	MA34S	00.11～	KWP
		MA64S	00.11～02.10	KWP
	エブリイ+（プラス）	DA32W	99.06～01.05	KWP
	エブリイランディ	DA32W	01.05～05.06	KWP
	スイフト	HT51S	00.01～	KWP
	シボレークルーズ	HR51S	01.11～03.10	KWP
		HR52S	03.11～	KWP
		HR81S	02.12～03.10	KWP
		HR82S	03.11～	KWP
38720－63J0	スイフト	ZC11S	04.11～	KWP
		ZD11S		
		ZC21S		
		ZD21S		
38720－57K0	スイフトスポーツ	ZC31S	05.09～	KWP
38720－79J0	SX4	YA11S	06.07～	KWP
		YB11S		
		YA41S		
		YB41S		
		YC11S	07.07～	KWP
38720－82K0	パレット	MK21S	08.01～	KWP

【エアコンシステム】

識別コード	車種	車両型式	適用時期	通信
95610－54G0	エリオ	RB21S	02.10～03.10	KWP
		RA21S		
		RC51S	03.01～03.10	KWP
		RD51S		
95610－54J0	エスクード	TL52W	02.11～05.04	KWP
		TD62W	02.11～03.05	KWP
	グランドエスクード	TX92W	02.11～05.05	KWP
39510－59J4	エリオ	RB21S	03.11～	KWP
		RA21S		
		RC51S		
39510－59J0		RD51S		
39510－62J0	スイフト	ZC11S	04.11～	KWP
		ZD11S		
		ZC21S		
		ZD21S		
	スイフトスポーツ	ZC31S	05.09～	KWP
39510－64J0	エスクード	TD54W	05.05～	KWP
		TD94W	05.06～	KWP
39510－80J0	SX4	YA11S	06.07～	KWP
		YB11S		
		YA41S		
		YB41S		
		YC11S	07.07～	KWP

【ボディシステム】

識別コード	車種	車両型式	適用時期	通信
36780－50J0	エスクード	TL52W	02.11～03.06	KWP
		TD62W		
	グランドエスクード	TX92W		
36780－52J0	エスクード	TL52W	03.06～05.04	KWP
36780－53J0	グランドエスクード	TX92W	03.06～05.05	KWP
36770－62J0	スイフト	ZC11S	04.11～07.04	KWP
		ZD11S		
		ZC21S		
		ZD21S		
	スイフトスポーツ	ZC31S	05.09～07.04	KWP
36770－64J0	エスクード	TD54W	05.05～06.05	KWP
		TD94W	05.06～06.05	KWP
36770－65J0	エスクード	TD54W	06.06～	KWP
		TD94W		
		TA74W		
36770－80J0	SX4	YA11S	06.07～	KWP
		YB11S		
		YA41S		
		YB41S		
36770－72K0	スイフト	ZC11S	07.05～	KWP
		ZD11S		
		ZC21S		
		ZD21S		
	スイフトスポーツ	ZC31S	07.05～	KWP
36770－75K0	SX4	YC11S	07.07～	KWP

■お問い合わせについて

この製品について不明な点がある場合や故障と思われる場合には、故障診断機キットに同梱されています故障診断機本体取扱説明書のお問い合わせ先まで、ご連絡ください。

スズキ車故障診断アプリケーション Version 3.8

取扱説明書

2011年3月　第1版発行